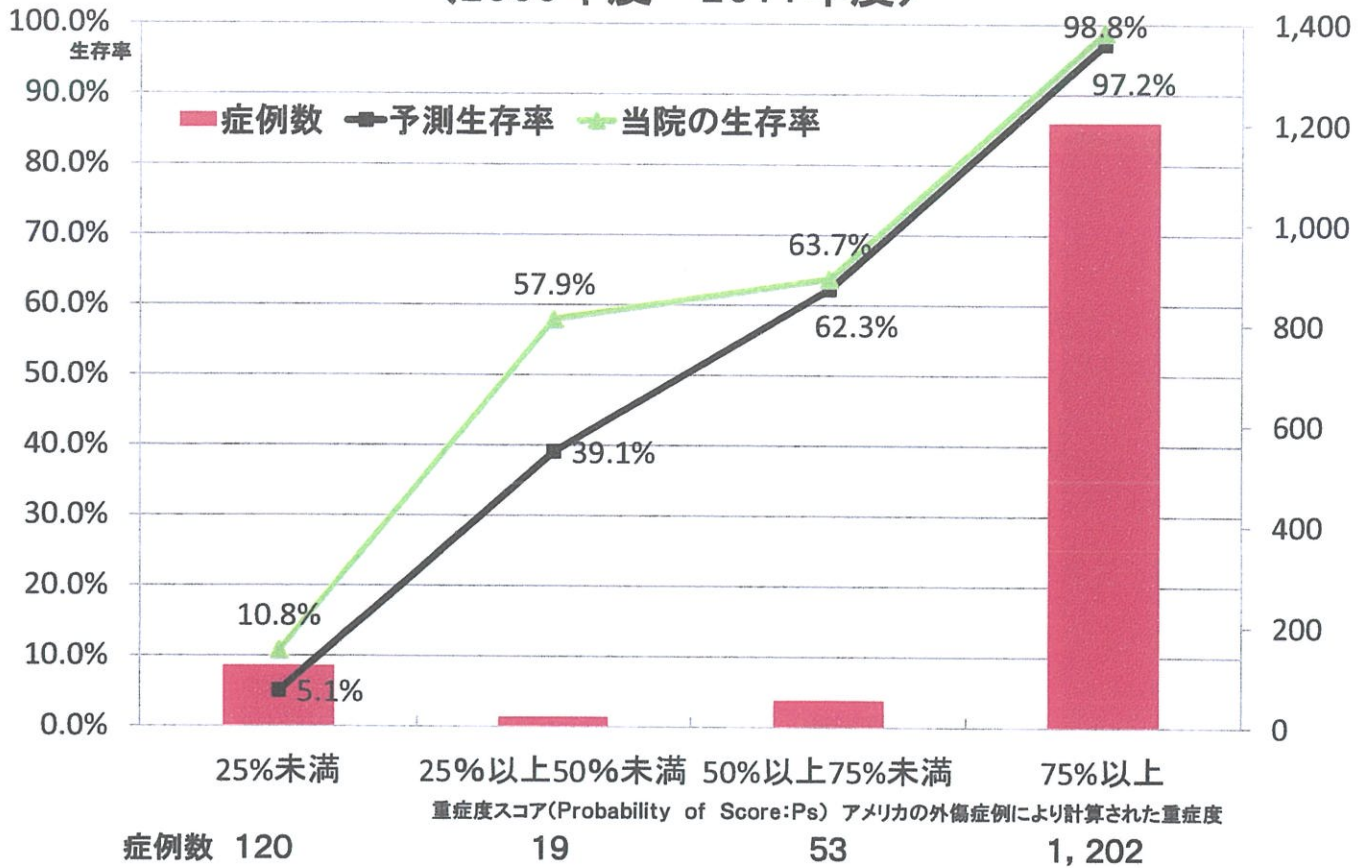


令和元年度 第3回評価委員会

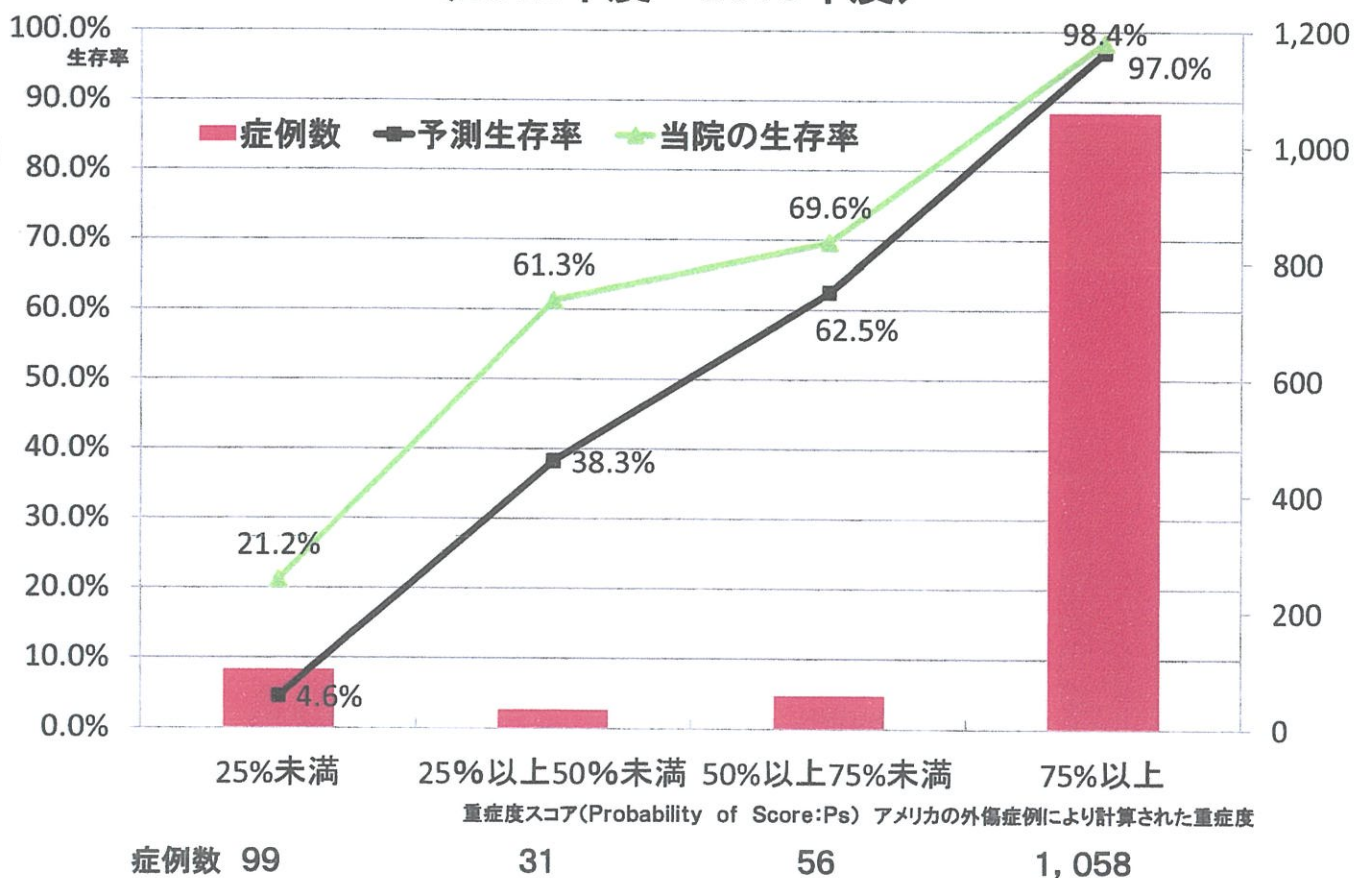
山梨県立病院機構資料

令和元年8月9日

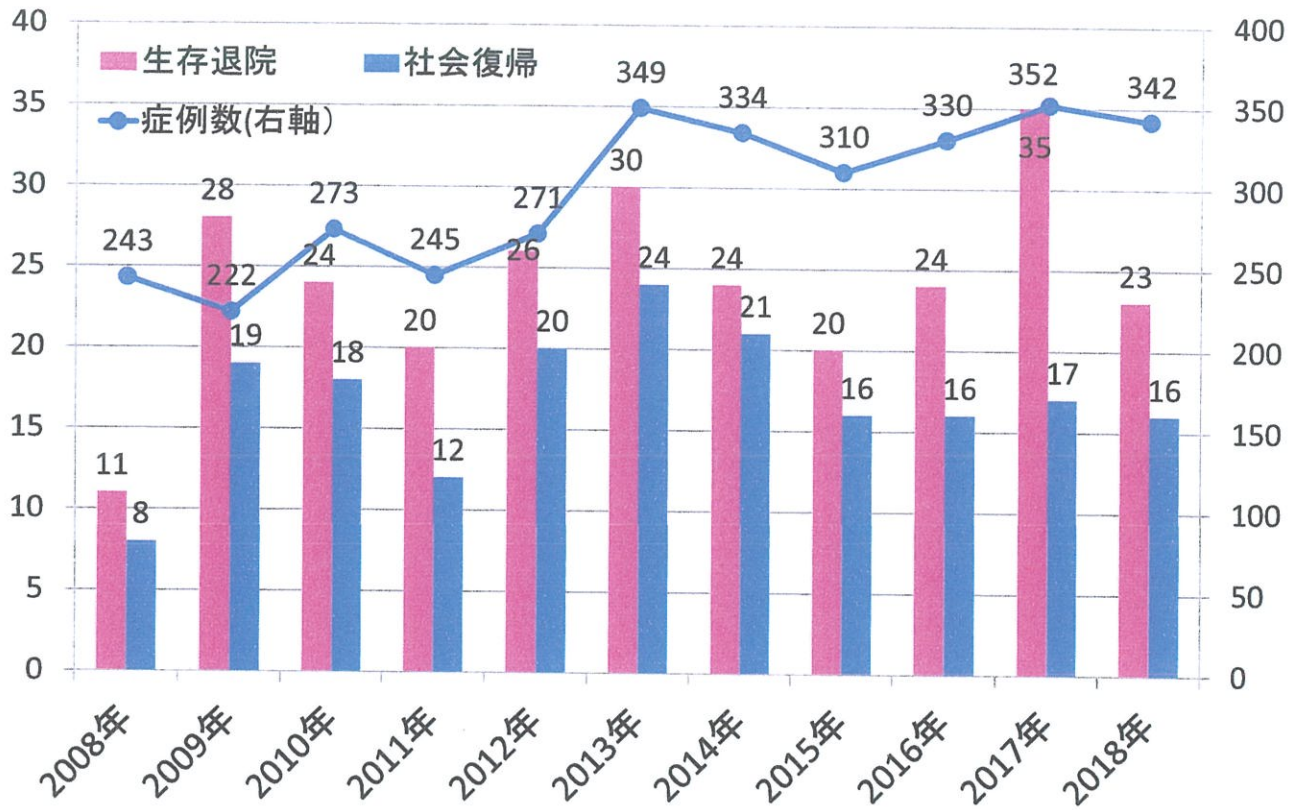
ドクターヘリ導入前の予測生存率と当院の生存率 (2008年度～2011年度)



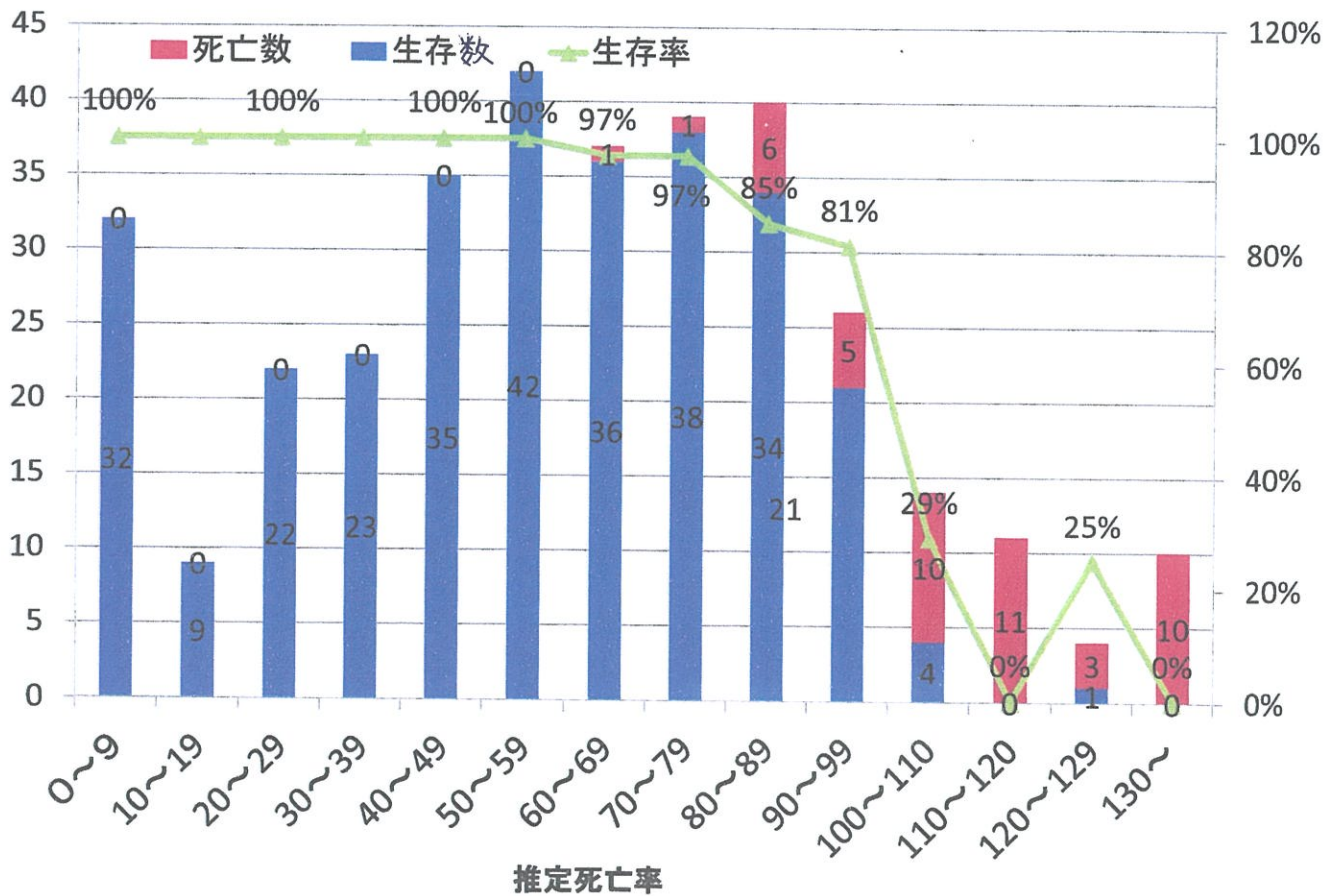
ドクターヘリ搬送症例の予測生存率と当院の生存率 (2012年度～2018年度)



病院外心肺停止症例と生存退院・社会復帰症例数



Prognostic Burn Index別生存率



運営に協力し、インストラクターとして救急科スタッフが参加した。

【学会・研究会発表】

- 1) 脳低温療法施行症例における心肺停止後症候群脳モニタリング値の検討
松本学、岩瀬史明、井上潤一、小林辰輔、宮崎善史、河野陽介、加藤頼子、池田督司、木下大輔、横田裕行
2016年2月 第43回日本集中治療学会 神戸市
- 2) 院内心停止した肺動脈塞栓症に対するPCPS症例の検討
小林辰輔、岩瀬史明、井上潤一、宮崎善史、松本学、河野陽介、加藤頼子、池田督司、土屋幸治、中島雅人、梅谷健
2016年2月 第53回山梨循環器研究会 甲府市
- 3) 多数傷病者発生事故に対する当センターの初動は改善したか？
岩瀬史明、井上潤一、小林辰輔、宮崎善史、松本学、河野陽介、加藤頼子、池田督司、木下大輔
2016年2月 第21回日本集団災害医学会 山形市
- 4) 爆発物テロの救急医療体制確立に向けて—マドリッド、ロンドン、ボストンから伊勢志摩、東京へ—
井上潤一
2016年2月 第21回日本集団災害医学会 山形市
- 5) 富士山噴火に備える—山梨県における被害想定と避難計画から考える救急災害医療対応—
井上潤一、宮崎善史、木下大輔、池田督司、加藤頼子、河野陽介、上川智彦、松本学、小林辰輔、岩瀬史明
2016年2月 第21回日本集団災害医学会 山形市
- 6) 超高齢者の膀胱自然破裂の1例
田中孝太、岩瀬史明、河野陽介、井上潤一、小林辰輔、宮崎善史、松本学、加藤頼子、池田督司、木下大輔
2016年3月 第52回日本腹部救急医学会 東京
- 7) 外傷性出血性ショックから敗血症性ショックに陥った1例
村田有、岩瀬史明、河野陽介、井上潤一、小林辰輔、宮崎善史、松本学、加藤頼子、池田督司、木下大輔
2016年3月 第52回日本腹部救急医学会 東京
- 8) 重症腹部外傷に対する当センターの止血戦略
岩瀬史明、河野陽介、木下大輔、井上潤一、小林辰輔、宮崎善史
2016年3月 第52回日本腹部救急医学会 東京
- 9) 緊急TAEにより止血できた肝血管筋脂肪腫自然破裂の1例
木下大輔、河野陽介、松本学、宮崎善史、小林辰輔、井上潤一、岩瀬史明、村田依子、新野史、松田吾郎
2016年3月 第52回日本腹部救急医学会 東京
- 10) 急激な経過で心停止に至った心筋障害の1例
今井松寛人 宮崎善史、小林辰輔、松本学、河野陽介、加藤頼子、池田督司、木下大輔、井上潤一、岩瀬史明
2016年3月 第42回山梨総合医学会 中央市
- 11) 神経線維腫症1型を背景に持つ患者が腹腔内出血を来した1例
飯尾一輝、宮崎善史、小林辰輔、松本学、河野陽介、加藤頼子、池田督司、木下大輔、井上潤一、岩瀬史明
2016年3月 第42回山梨総合医学会 中央市
- 12) 外傷歴はないが臨床症状から破傷風と診断された1例
塩谷菜美、松本学、河野陽介、加藤頼子、池田督司、木下大輔、宮崎善史、小林辰輔、井上潤一、岩瀬史明
2016年3月 第42回山梨総合医学会 中央市
- 13) 孤立性上腸間膜動脈解離11例の検討
名田屋辰規、小林辰輔、中込博
2016年3月 第42回山梨総合医学会 中央市
- 14) Endovascular Therapy for cranio-cervical trauma at the critical care center
Gaku Matsumoto Fumiaki Iwase, Junichi Inoue, Tatsuho Kobayashi, Yosibumi Miyazaki, Yosuke Kawano, Yoriko Kato, Tokuji Ikeda, Daisuke Kinoshita, Yuta Kawashima
2016年3月 12th AAFITN Indonesia
- 15) Early Detection of Traumatic Coagulopathy with Point-of-Care Test
Gaku Matsumoto Fumiaki Iwase, Junichi Inoue, Tatsuho Kobayashi, Yoshibumi Miyazaki, Yosuke Kawano, Yoriko Kato, Tokuji Ikeda, Daisuke Kinoshita, Hiroyuki Yokota
2016年4月 ICEM South Africa
- 16) 山梨県におけるmedical officer制度と指導救命士の育成の関わり
石原武士、松田兼一、岩瀬史明、松田潔
2016年5月 第19回日本臨床救急医学会総会 郡山市
- 17) 処置拡大の山梨県MCの現状と問題点
岩瀬史明、松田兼一、井上潤一、小林辰輔、宮崎善史、木下大輔
2016年5月 第19回日本臨床救急医学会総会 郡山市
- 18) 当院における院外心停止患者への脳低温療法施行症例の検討と比較
木下大輔、池田督司、加藤頼子、河野陽介、松本学、宮崎善史、小林辰輔、井上潤一、岩瀬史明
2016年5月 第19回日本臨床救急医学会総会 郡山市
- 19) 救命救急センターにおけるだぶと邁進 (DAP) の使用方法の検討
遠藤愛樹、佐野公一、河野陽介、松本学、宮崎善史、小林辰

- 輔、井上潤一、岩瀬史明、山本誠一、磯部克彦
2016年5月 第19回日本臨床救急医学会総会 郡山市
- 20) 救命救急センターにおける頭頸部外傷に対する血管内治療
松本学 岩瀬史明、井上潤一、小林辰輔、宮崎善史、河野陽介、加藤頼子、池田督司、木下大輔、川島佑太、横田裕行
2016年5月 第45回日本IVR学会総会 名古屋市
- 21) 経カテーテル動脈塞栓術により止血に成功した外傷性甲状腺腫破裂の1例
加藤頼子、松本学、井上潤一、小林辰輔、宮崎善史、河野陽介、池田督司、木下大輔
2016年5月 第45回日本IVR学会 名古屋市
- 22) 当センターのPreventable Trauma Deathは減少したか？
岩瀬史明
2016年5月 第30回日本外傷学会 東京
- 23) 急性期バイオマーカーによる外傷凝固障害予測
松本学、岩瀬史明、井上潤一、小林辰輔、宮崎善史、河野陽介、木下大輔、岩瀬弘明、横田裕行
2016年5月 第30回日本外傷学会 東京
- 24) 殿筋壊死を合併し治療に難渋したMorel-Lavallee Lesionの1例
木下大輔、池田督司、加藤頼子、河野陽介、松本学、宮崎善史、小林辰輔、井上潤一、岩瀬史明、定月亮、岩瀬弘明
2016年5月 第30回日本外傷学会 東京
- 25) 遅発性に臀部コンパートメント症候群をきたした2例
岩瀬弘明 鈴木雅生、岩瀬史明、井上潤一、小林辰輔、宮崎善史、松本学、木下大輔
2016年5月 第30回日本外傷学会 東京
- 26) DPLはCTの限界をカバーする最強の診断ツールでもある
井上潤一
2016年5月 第30回日本外傷学会 東京
- 27) ボストンマラソン爆弾テロ
井上潤一
2016年5月 第30回日本外傷学会 東京
- 28) 重複大動脈損傷を有した多発外傷の一救命例
川島佑太 小林辰輔、岩瀬史明、井上潤一、宮崎善史、松本学、河野陽介、木下大輔、池田督司、岩瀬弘明
2016年5月 第30回日本外傷学会 東京
- 29) 陰圧閉鎖療法 (NPWT) を併用した熱傷植皮術の経験
岩瀬史明 上川智彦、木下大輔、井上潤一、小林辰輔、宮崎善史、松本学、河野陽介、加藤頼子、池田督司、酒巻美保、齊藤景、小林公一
2016年6月 第42回日本熱傷学会 千葉
- 30) 臀部熱傷に対し植皮時に一時的肛門閉鎖を行った1例
今井松寛人、岩瀬史明、井上潤一、宮崎善史、小林辰輔、河野陽介、柳沢政彦、池田督司、木下大輔、跡部かおり、川島佑太
2016年6月 第29回日本熱傷学会甲信地方会 長野
- 31) 鹿角による腹部刺創に腸管損傷を伴った一例
河西広志 河野陽介、岩瀬史明、井上潤一、小林辰輔、宮崎善史、松本学、柳沢政彦、池田督司、木下大輔、跡部かおり、川島佑太
2016年7月 第32回甲信救急集中治療セミナー 長野
- 32) No CPR No LIFE? 偶発性低体温性心停止に対する胸骨圧迫は不要か？
神宮寺教史、河野陽介、井上潤一、岩瀬史明、小林辰輔、宮崎善史、松本学、柳沢政彦、池田督司、跡部かおり、川島佑太
2016年7月 第32回甲信救急集中治療セミナー 長野
- 33) 心停止を生じた肺動脈塞栓症に対するPCPSの治療経験
小林辰輔、岩瀬史明、井上潤一、宮崎善史、松本学、河野陽介、柳沢政彦、池田督司、跡部かおり、川島佑太
2016年7月 第32回甲信救急集中治療セミナー 長野
- 34) 肺塞栓症によるCPA蘇生後にヘパリン起因性血小板減少症 (HIT) を発症した一例
谷川崇宗、小林辰輔、跡部かおり、岩瀬史明、井上潤一、宮崎善史、松本学、河野陽介、柳沢政彦、池田督司、川島佑太
2016年7月 第32回甲信救急集中治療セミナー 長野
- 35) 外傷診療におけるチーム医療～当院の取り組み～
河野陽介、井上潤一、小林辰輔、宮崎善史、松本学、柳沢政彦、池田督司、木下大輔、跡部かおり、川島佑太、岩瀬史明
2016年7月 第32回甲信救急集中治療セミナー 長野
- 36) 一般化炭素中毒患者のドクターヘリ搬送
岩瀬史明、加藤頼子、井上潤一、小林辰輔、宮崎善史、松本学、河野陽介、柳沢政彦、池田督司、木下大輔
2016年7月 第38回日本中毒学会 新潟市
- 37) 救命救急センターにおける頭頸部外傷に対する血管内治療
松本学、金子純也、横堀将司、桑本健太郎、横田裕行、中野真、岩瀬史明、井上潤一
2016年9月 第75回日本脳神経外科学会学術総会 福岡
- 38) 鈍的胆嚢損傷の検討
小林辰輔 岩瀬史明、井上潤一、宮崎善史、松本学、河野陽介、柳沢政彦、池田督司、木下大輔、跡部かおり、川島佑太
2016年9月 第8回日本ACS学会 大阪
- 39) 高齢者の体幹部外傷に対する緊急手術の検討
岩瀬史明、井上潤一、小林辰輔、宮崎善史、松本学、河野陽介、柳沢政彦、池田督司、木下大輔、跡部かおり、川島佑太

2016年9月 第8回日本ACS学会 大阪

- 40) Resuscitative endovascular occlusion of the aorta can be alternative to aortic cross clamp in adult trauma patients requiring torso surgery- a propensity score matching analysis.

Inoue Junichi, Atsushi Shiraishi, Masayuki Yagi, Yasuhiro Otomo

2016年9月 75th Annual meeting of the American Association for the Surgery of Trauma & Clinical Congress of Acute Care Surgery (AAST)

米国外傷外科・急性期外科学会総会 Hawaii

- 41) 山梨ドクターヘリは一酸化炭素中毒の治療を変えたか?

岩瀬史明、井上潤一、小林辰輔、宮崎善史、松本学、河野陽介、池田督司、柳沢政彦、木下大輔、跡部かおり、川島佑太、岩瀬弘明

2016年10月 第23回日本航空医療学会 川越市

- 42) ゴルフ場での「死亡ゼロ」を目指して一場内RP設定とキーワード化

木下大輔、川島佑太、跡部かおり、池田督司、柳沢政彦、河野陽介、松本学、宮崎善史、小林辰輔、井上潤一、岩瀬史明、高野一城、小林加奈

2016年10月 第23回日本航空医療学会 川越市

- 43) ドクターヘリ活動時に発生した事象についての分析と課題

佐藤千米、高橋初枝、高野一城、金姫静、岩瀬史明、小林加奈

2016年10月 第23回日本航空医療学会 川越市

- 44) 爆発物テロ災害現場での活動にはゾーニングと医療処置の標準化・共有が必要である

井上潤一、岩瀬史明、本間正人、大友康裕

2016年11月 第44回日本救急医学会 東京

- 45) 築試験の高齢者介護施設から救急搬送実態

岩瀬史明、井上潤一、小林辰輔、宮崎善史、松本学、河野陽介、柳沢政彦、池田督司、木下大輔、跡部かおり、川島佑太

2016年11月 第44回日本救急医学会 東京

- 46) 医療救護班から地域の医療への引き継ぎ～熊本地震の医療救護班及びDMATロジスティックチームとしての活動を経験して～

岩瀬史明、井上潤一、小林辰輔、宮崎善史、松本学、池田督司、木下大輔、河野陽介、川島佑太、跡部かおり、加藤頼子

2016年11月 第44回日本救急医学会 東京

- 47) 熊本地震における、阿蘇地区でのDMATロジスティックチームの活動

三村誠二、岩瀬史明、藤原弘之、猿田麻耶、服部潤、村田沢人、吉川友弘、若井聡智、市原正行、近藤久禎、小井土雄一

2016年11月 第44回日本救急医学会 東京

- 48) 平成28年熊本地震におけるDMATロジスティックチームの活動～阿蘇地区・西原村～

服部潤、三村誠二、岩瀬史明、猿田麻耶、藤原弘之、村田沢人、吉川友弘、近藤久禎、小井土雄一

2016年11月 第44回日本救急医学会 東京

- 49) A case report : Heparin-induced thrombocytopenia (HIT) in a patient resuscitated from cardiac arrest caused by pulmonary embolism.

Atobe Kaori, Kobayashi Tatsuho, Iwase Fumiaki, Inoue Junichi, Miyazaki Yoshibumi, Matsumoto Gaku, Kawano Yousuke, Yanagisawa Masahiko, Ikeda Tokuji, Kinoshita Daisuke, Kawashima Yuta

2016年11月 第44回日本救急医学会 東京

- 50) 純粋脾損傷に対する選択的動脈塞栓術は、遅発性血管合併症を減少させるか?

小林辰輔、岩瀬史明、井上潤一、宮崎善史、松本学、河野陽介、柳沢政彦、池田督司、木下大輔、跡部かおり、川島佑太

2016年11月 第44回日本救急医学会 東京

- 51) 癒着性イレウスに対する初期治療としての胃管の有用性

川島佑太、岩瀬史明、井上潤一、小林辰輔、宮崎善史、松本学、河野陽介、池田督司、木下大輔、原井正太、小嶋裕一郎

2016年11月 第44回日本救急医学会 東京

- 52) ドクターヘリの活用と躍進～災害時の協働を見据えて～山梨県の現状と課題

岩瀬史明

2016年12月 第19回日本救急医学会中部地方会 名古屋市

【講演】

- 1) 災害医療コーディネーターとは

岩瀬史明

2016年1月 平成27年度大規模災害時医療救護に関する連絡会 甲府市

- 2) 自殺未遂者への対応と連携及び二次救急医療機関に期待すること～医師の立場から～

加藤頼子

2016年2月 平成27年度自殺再企図防止ケア事業関係職員研修会 甲府市

- 3) 在宅における救急医療処置

岩瀬史明

2016年3月 大月市地域包括ケア推進研修会 大月市

- 4) 穏やかな看取りを支えるために～救急搬送の実態から～

岩瀬史明

2016年4月 地域医療を守る4・9シンポジウムと講演のつどい 甲府市

- 5) 救急現場におけるけいれん対応のピットフォール～てんか

- ん以外のけいれん性疾患～
松本学
2016年5月 てんかん学会 甲府市
- 6) The Last Hope : PCPSになにができるか
小林辰輔
2016年6月 補助循環の最前線～PCPS、ECPR、ECMO～
名古屋市
- 7) これからの震災に備えてすべきこと～熊本地震に対する医療救護班としての支援活動から見たもの～
岩瀬史明
2016年6月 南部町防災講演会 南部町
- 8) 医療救護班より地域の医療機関へのつなぎ
岩瀬史明
2016年6月 医療連携研修会 甲府市
- 9) 医療救護班出勤報告
岩瀬史明
2016年6月 病院内報告会 甲府市
- 10) 臓器提供のながれ 実例をおって
岩瀬史明
2016年9月 臓器・組織提供勉強会 甲府市
- 11) 臓器提供のながれ 実例をおって
岩瀬史明
2016年12月 院内臓器・組織提供従事者研修会 甲府市
- 2016年5月 第30回日本外傷学会 東京
- 7) 一般口演；症例報告・その他
岩瀬史明
2016年6月 第42回日本熱傷学会 千葉
- 8) 特別講演
岩瀬史明
2016年5月 てんかん学会 甲府市
- 8) 一般口演；連携：多機関、多職種、地域1
岩瀬史明
2016年10月 第23回日本航空医療学会 川崎市
- 9) 特別セッション「平成28年熊本地震」ポスター；熊本地震11
岩瀬史明
2016年11月 第44回日本救急医学会 東京
- 10) シンポジウム関連；メディカルコントロール
井上潤一
2016年11月 第44回日本救急医学会 東京
- 11) ポスター；IVR2
小林辰輔
2016年11月 第44回日本救急医学会 東京
- 12) 一般口演；消化管2
跡部かおり
2016年11月 第44回日本救急医学会 東京
- 13) ブラッシュアップセミナー第2部
岩瀬史明
2016年12月 第19回日本救急医学会中部地方会 名古屋市
- 【座長】**
- 1) ミニレク；圧挫症候群、放射線障害、津波肺
井上潤一
2016年2月 第21回日本集団災害医学会 山形市
- 2) 一般口演
小林辰輔
2016年3月 第42回山梨総合医学会 中央市
- 3) 一般口演
岩瀬史明
2016年3月 第52回日本腹部救急医学会 東京
- 4) 一般口演；画像診断
岩瀬史明
2016年5月 第30回日本外傷学会 東京
- 5) ポスター；骨盤・四肢
岩瀬史明
2016年5月 第30回日本外傷学会 東京
- 6) ポスター；胸腹部外傷
井上潤一
- 病理診断科**
- 【スタッフ紹介】**
- 常勤医
- ・小山 敏 雄
1983年3月 群馬大学医学部卒業
1983年4月～1990年3月 山梨医科大学助手
(1983年5月～10月 東京築地国立がんセンター病理部に国内留学)
1990年4月～ 山梨県立中央病院検査部医長
現在、山梨県立中央病院検査部統括部長、山梨大学人体病理学臨床教授
- 招聘医
- ・大石 直 輝
山梨大学人体病理学特任助教

2015/12/19 山梨県立大学池田キャンパス
 <教育コース>

当科では毎年、救急蘇生や外傷診療に関する教育コースの開催運営に係っている。AHA-BLSコース、AHA-ACLSコース、ICLSコース、JPTECプロバイダーコース、JPTECプロバイダー更新コース、JPTECインストラクターコース、JATECコース、MCLS標準コース、MCLSマネジメントコース、MCLSインストラクターコースを病院内で開催運営し、インストラクターとして救命救急センタースタッフが参加した。

[学会発表]

1) 末梢血管に対するステント治療

松本学 岩瀬史明 井上潤一 小林辰輔 宮崎善史 大嶽康介 加藤頼子 池田督司 木下大輔 横田裕行
 2015年2月 第65回日本救急医学会関東地方会 横浜

2) わが国におけるCSMこの20年の歩みと今後の展望

井上潤一 岩瀬史明 小井土雄一
 2015年2月 第20回日本集団災害医学会 立川

3) 爆発物テロに対する効果的な3T対応のあり方—ボストン・マラソン爆弾事件に学ぶ

井上潤一 岩瀬史明 大友康裕
 2015年2月 第20回日本集団災害医学会 立川

4) 2014年2月の豪雪期間中の山梨県の救急活動

岩瀬史明 井上潤一 小林辰輔 宮崎善史 松本学 大嶽康介 加藤頼子 池田督司 木下大輔
 2015年2月 第20回日本集団災害医学会 立川

5) 山梨県史上最高の降雪による豪雪災害時の透析患者の救急搬送について

岩瀬史明 井上潤一 小林辰輔 宮崎善史 松本学 大嶽康介 加藤頼子 池田督司 木下大輔
 2015年2月 第20回日本集団災害医学会 立川

6) 爆発物テロ災害に対する医療対応トレーニングプログラムの開発

井上潤一 岩瀬史明 大友康裕
 2015年2月 第20回日本集団災害医学会 立川

7) ECLS離脱後大腿動脈仮性動脈瘤に対しCovered Stent留置術を施行した一例

松本学 小林辰輔 岩瀬史明 井上潤一 宮崎善史 大嶽康介 加藤頼子 池田督司 木下大輔 横田裕行
 2015年2月 第42回日本集中治療学会 東京

8) 神経集中治療における抗痙攣薬の血中動態の検討

松本学 加藤頼子 岩瀬史明 井上潤一 小林辰輔 宮崎善

史 大嶽康介 池田督司 木下大輔 横田裕行
 2015年2月 第42回日本集中治療学会 東京

9) 大量輸血プロトコールにより早期FFP投与は達成できているのか?

岩瀬史明 木下大輔 池田督司 加藤頼子 大嶽康介 松本学 宮崎善史 小林辰輔 井上潤一 岩瀬弘明
 2015年2月 第42回日本集中治療学会 東京

10) 腎臓損傷患者におけるインフォームドコンセントと家族ケア

大嶽康介 木下大輔 池田督司 加藤頼子 松本学 宮崎善史 小林辰輔 井上潤一
 2015年2月 第42回日本集中治療学会 東京

11) 当院救命救急センターにおける、rTM製剤を使用した敗血症性DIC患者の特徴と予後予測因子の検討

池田督司 岩瀬史明 井上潤一 小林辰輔 宮崎善史 松本学 大嶽康介 加藤頼子 木下大輔
 2015年2月 第42回日本集中治療学会 東京

12) CO2ナルコーシスをきたした重症筋無力症クリーゼの1例

羽田拓也 池田督司 小林辰輔 木下大輔 加藤頼子 大嶽康介 松本学 宮崎善史 井上潤一 岩瀬史明
 2015年3月 第41回山梨総合医学会 中央市

13) 脱法ハーブによる急性薬物中毒から上気道閉塞をきたした1例

渡邊裕陽 加藤頼子 小林辰輔 岩瀬史明 井上潤一 宮崎善史 松本学 大嶽康介 池田督司 木下大輔
 2015年3月 第41回山梨総合医学会 中央市

14) 脂肪塞栓症候群による意識障害が遅延した1例

原間智子 池田督司 小林辰輔 木下大輔 加藤頼子 大嶽康介 松本学 宮崎善史 井上潤一 岩瀬史明
 2015年3月 第41回山梨総合医学会 中央市

15) 胸骨圧迫による肝損傷から出血性ショックをきたした急性心筋梗塞の1例

梶山佳那 木下大輔 藤原裕季 池田督司 加藤頼子 大嶽康介 松本学 小林辰輔 宮崎善史 梅谷健 井上潤一 岩瀬史明
 2015年3月 第41回山梨総合医学会 中央市

16) ドクターヘリによる腹部外傷患者の集約

岩瀬史明 木下大輔 池田督司 加藤頼子 大嶽康介 松本学 宮崎善史 小林辰輔 井上潤一
 2015年3月 第51回日本腹部救急医学会 京都

17) 腹部外傷後Open abdominal management (OAM) において閉鎖に難渋した1例

大嶽康介 木下大輔 池田督司 加藤頼子 松本学 宮崎善史 小林辰輔 井上潤一 岩瀬史明

- 2015年3月 第51回日本腹部救急医学会 京都
- 18) 鈍的外傷による膵内胆管単独損傷の1例
都倉裕り 岩瀬史明 木下大輔 池田督司 加藤頼子 大嶽康介 松本学 宮崎善史 小林辰輔 井上潤一
2015年3月 第51回日本腹部救急医学会 京都
- 19) 呼吸管理の新展開 当院救命救急センターで、重症呼吸不全に対しVV-ECMOを導入した6症例の検討
池田督司
2015年4月 第55回日本呼吸器学会 東京
- 20) 前方への転倒によりIIIb型脾損傷を来した学童の1例
尾花和子 大矢知昇 鈴木健之 松本学
2015年4月 第118回日本小児科学会 大阪
- 21) 画紙による消化管遺物の2例
浜田朋也 大矢知昇 鈴木健之 江村隆起 尾花和子 細田健司 松本学
2015年4月 第118回日本小児科学会 大阪
- 22) 診断治療に難渋した頸部刺創の1例
小林辰輔 松本学
2015年5月 第2回救急・外傷IVR研究会 東京
- 23) 重症外傷に対してFFPの異型輸血は有効か？
岩瀬史明 井上潤一 小林辰輔 宮崎善史 松本学 大嶽康介 加藤頼子 池田督司 木下大輔 浅川萌 本田知美 小松望
2015年5月 第63回日本輸血・細胞治療学会 東京
- 24) Nonoperative management for blunt renal injuries
Gaku Matsumoto, Fumiaki Iwase, Junichi Inoue, Tatsuho Kobayashi, Yoshibumi Miyazaki, Kousuke Otake, Daisuke Kinoshita, Hiroaki Iwase, Yoriko Kato, Tokuji Ikeda, Daisuke Kinoshita, Hiroyuki Yokota
2015年5月 第44回JSIR & ISIR2015・日本IVR学会 宮崎
- 25) Initial TAE may reduce delayed vascular complication of blunt splenic injury with non operative management
Tatsuho Kobayashi, Gaku Matsumoto
2015年5月 第44回JSIR & ISIR2015・日本IVR学会 宮崎
- 26) 重症外傷に対する病院前診療から病院初期診療への連携
岩瀬史明 井上潤一 小林辰輔 岩瀬弘明 宮崎善史 松本学 大嶽康介 加藤頼子 池田督司 木下大輔
2015年6月 第29回日本外傷学会 札幌市
- 27) スtent治療を行った鎖骨下動脈損傷の4例
大嶽康介 木下大輔 池田督司 加藤頼子 松本学 宮崎善史 小林辰輔 井上潤一 岩瀬史明
2015年6月 第29回日本外傷学会 札幌市
- 28) 骨盤骨折に対する経動脈的塞栓術後殿筋壊死の危険因子
岩瀬弘明 鈴木雅生 岩瀬史明 井上潤一 小林辰輔 宮崎善史 松本学 大嶽康介 木下大輔
2015年6月 第29回日本外傷学会 札幌市
- 29) 一過性甲状腺機能亢進を呈した甲状腺損傷の二例
小林辰輔 岩瀬史明 井上潤一 宮崎善史 松本学 大嶽康介 加藤頼子 池田督司 木下大輔 岩瀬弘明
2015年6月 第29回日本外傷学会 札幌市
- 30) 山梨県ドクターヘリによる熱傷症例の集約と今後の課題
岩瀬史明 上川智彦 大嶽康介 木下大輔 井上潤一 小林辰輔 宮崎善史 松本学 加藤頼子 池田督司
2015年6月 第41回日本熱傷学会総会・学術集会 名古屋
- 31) 熱傷学会更新地方会の特色と当地域の熱傷入院患者傾向から考える今後の課題
杠俊介 大谷津恭之 高橋信行 岩澤幹直 阿部直樹 岩瀬史明 松田潔
2015年6月 第41回日本熱傷学会総会・学術集会 名古屋
- 32) 災害時における外科系医療 災害医療における外科系医師のこれからの役割
井上潤一 岩瀬史明 布施明 横田裕行
2015年6月 第40回外科系連合学会 東京
- 33) 脳低温療法施行症例における心肺停止後症候群脳モニタリング値の検討
松本学 岩瀬史明 井上潤一 小林辰輔 宮崎善史 河野陽介 加藤頼子 池田督司 木下大輔 川島侑太 横田裕行
2015年6月 第29回神経救急学会 秋田
- 34) 呼吸不全で発症した80歳初発重症筋無力症の1例
川島侑太 松本学 岩瀬史明 井上潤一 小林辰輔 宮崎善史 河野陽介 加藤頼子 池田督司 木下大輔
2015年6月 第29回神経救急学会 秋田
- 35) 山梨県における自殺対策
加藤頼子 岩瀬史明 井上潤一 小林辰輔 宮崎善史 松本学 大嶽康介 池田督司 木下大輔
2015年6月 第111回日本精神神経学会 大阪
- 36) 循環不全、高体温を呈した治療に難渋した多発外傷に伴う脂肪塞栓症候群の1例
木下大輔 原間智子 池田督司 加藤頼子 大嶽康介 松本学 宮崎善史 小林辰輔 井上潤一 岩瀬史明
2015年6月 第18回日本臨床救急医学会 富山
- 37) Jail法で治療しえた上腸間膜動脈限局解離の1例
宮崎善史 小林辰輔 岩瀬史明 井上潤一 松本学 大嶽康介 加藤頼子 池田督司 木下大輔 名田屋辰規
2015年6月 第18回日本臨床救急医学会 富山

- 38) 救急救命士の拡大処置に対する山梨県の取り組みと開始後の現状
岩瀬史明 松田兼一 久保寺兼義 岡本優司 井上潤一 池田督司 宮崎善史 木下大輔 大嶽康介 加藤頼子
2015年6月 第18回日本臨床救急医学会 富山
- 39) ドクターヘリの運用と展開 神奈川県ドクターヘリの隣接県との過去の連携と3県連携体制後の課題と展望
青木弘道 飯嶋将司 吉崎智恵美 三浦直也 佐藤俊樹 関知子 岩瀬史明 柳川洋一 中川儀英 猪口貞樹
2015年6月 第18回日本臨床救急医学会 富山
- 40) 心肺停止が契機となり診断に至ったALS-Dの一例
吉川美佐子
2015年7月 第31回甲信救急集中治療セミナー 松本市
- 41) 診断・治療に難渋した左頸部刺創の一例
小林辰輔
2015年7月 第31回甲信救急集中治療セミナー 松本市
- 42) 重症アトピー性皮膚炎からToxic Shock Syndromeに陥った1例
朝比奈千沙
2015年7月 第31回甲信救急集中治療セミナー 松本市
- 43) 当院の入院熱傷患者の集計
岩瀬史明 井上潤一 小林辰輔 宮崎善史 松本学 河野陽介 加藤頼子 池田督司 木下大輔 田山英樹 小林公一 酒巻美保 磯村智子 塚本克彦 長田厚 富田央澄
2015年9月 第28回日本熱傷学会甲信地方会 長野市
- 44) REBOA might be dangerous in patients with severe torso trauma -a propensity score analysis says-
Jun-ichi Inoue
2015年9月 74th American Association for the Surgery of Trauma Las vegas
- 45) 痙攣重積発作に対するフェノバルビタールとホスフェニトインの有効性・安全性に対する無作為比較試験
松本学 加藤頼子 岩瀬史明 井上潤一 横田裕行
2015年10月 第74回日本脳神経外科学会 札幌
- 46) 尿路系外傷では初療時のtrauma pan-scanでの排泄相は必須か?
岩瀬史明 井上潤一 小林辰輔 宮崎善史 松本学 河野陽介 加藤頼子 池田督司 木下大輔 丸山正裕
2015年10月 第7回日本Acute Care Surgery学会 福岡市
- 47) IVRおよび外科的治療にて止血し得た頸部junctional hemorrhageの1例
河野陽介 井上潤一 小林辰輔 宮崎善史 松本学 加藤頼子 池田督司 木下大輔 田山英樹 岩瀬史明
2015年10月 第7回日本Acute Care Surgery学会 福岡市
- 48) 孤立性上腸間膜動脈解離の10例の検討
名田屋辰規 小林辰輔 中島雅人 岩瀬史明 井上潤一 宮崎善史 松本学 河野陽介 木下大輔 加藤頼子
2015年10月 第7回日本Acute Care Surgery学会 福岡市
- 49) 病院外心停止症例に対してラビッドレスポンスカーは不要か?
岩瀬史明 井上潤一 小林辰輔 宮崎善史 松本学 加藤頼子
2015年11月 第10回日本病院前救急診療学会 大阪
- 50) 頭頸部外傷性血管損傷に対するステント治療
松本学 金子純也 横堀将司 桑本健太郎 布施明 横田裕行 岩瀬史明 井上潤一
2015年11月 第31回日本脳神経血管内治療医学会学術総会 岡山
- 51) キーワード方式による“情報提供”は有効か?
岩瀬史明 井上潤一 小林辰輔 宮崎善史 松本学 河野陽介 加藤頼子 池田督司 木下大輔 岩瀬弘明 丸山正裕 田山英樹
2015年11月 第22回日本航空医療学会総会 前橋市
- 52) Stent-assisted treatment for peripheral arterial injuries
Gaku Matsumoto, Fumiaki Iwase, Junichi Inoue, Tatsuho Kobayashi, Yoshibumi Miyazaki, Kousuke Otake, Yosuke Kawano, Yoriko Kato, Tokuji Ikeda, Daisuke Kinoshita, Hiroyuki Yokota
2015年11月 8th Asian Conference for Emergency Medicine 台北
- 53) Comparison of phenobarbital and fosphenytoin for status epileptics and acute symptomatic seizure, a randomized controlled trial
Yoriko Kato, Gaku Matsumoto, Fumiaki Iwase, Junichi Inoue, Tatsuho Kobayashi, Yoshibumi Miyazaki, Kosuke Otake, Yosuke Kawano, Tokuji Ikeda, Daisuke Kinoshita, Hiroyuki Yokota
2015年11月 8th Asian Conference for Emergency Medicine 台北
- 54) 開胸してしまった胸部外傷合併漿液性心嚢液貯留の2例
荒井秀寿
2015年12月 第18回日本救急医学会中部地方会 福井
- 55) 重症アトピー性皮膚炎からToxic Shock Like Syndromeに陥った一例
朝比奈千沙 岩瀬史明 井上潤一 小林辰輔 宮崎善史 松本学 河野陽介 加藤頼子 池田督司 木下大輔
2015年12月 第18回日本救急医学会中部地方会 福井

56) 下行結腸憩室穿通による後腹膜腔穿破・腹壁穿破を来した一例
村田博朗 丸山正裕 岩瀬史明 井上潤一 宮崎善史 松本学 河野陽介 加藤頼子 池田督司 木下大輔
2015年12月 第18回日本救急医学会中部地方会 福井

57) REBOA might be dangerous in patients with severe torso trauma
井上潤一
2015年12月 第28回日本医大救急医学フォーラム 東京

【講演】

1) 山梨県の観測史上最高の郷絶に対する救急活動
岩瀬史明
2015年1月 第69回地域連携学術講演会 前橋市

2) 当センターの救急医療体制について～ドクターカー・ヘリによる現場医療から集中治療へ～
岩瀬史明
2015年7月 東山梨医師会講演会 笛吹市

3) 当院救命救急センターにおける、rTM製剤を使用した敗血症性DIC患者の特徴と予後予測因子の検討
池田督司
2015年7月 東山梨医師会講演会 笛吹市

4) クラッシュ症候群と災害医療 Review & Update
井上潤一
2015年8月 いわて災害医療フォーラム 盛岡市

5) The last hope, PCPSにはなにができるか？
小林辰輔
2015年9月 perfusion academy 静岡

6) 救急災害医療からみた富士山噴火—どう備え、いかに対処すべきか？—
井上潤一
2015年10月 富士吉田市立病院 院内災害医療検討会 富士吉田市

【座長】

1) 井上潤一 一般口演；ショック
2015年2月 第65回日本救急医学会関東地方会 横浜市

2) 井上潤一 招待講演
2015年2月 第20回日本集団災害医学会 立川市

3) 岩瀬史明 一般口演；救急
2015年3月 第41回山梨総合医学会 中央市

4) 井上潤一 ポスター；腹部
2015年6月 第43回 日本救急医学会総会・学術集会 東京

6) 小林辰輔 IVR；
2015年10月 第43回日本救急医学会総会・学術集会 東京

7) 小林辰輔 シンポジウム関連
2015年10月 第7回日本Acute Care Surgery学会 福岡市

8) 岩瀬史明 現場活動：医療
2015年11月 第22回日本航空医療学会総会 前橋市

9) 岩瀬史明 ディスカッション
2015年11月 山梨救急集中治療フォーラム 甲府市

【論文・投稿】

1) グリホサートカリウム塩中毒による重篤な高カリウム血症から救命し得た3症例
加藤頼子 岩瀬史明 井上潤一 小林辰輔 宮崎善史 松本学 大嶽康介
中毒研究 2015；28：368-370

2) 山梨県におけるJPTECTM普及の取り組みと消防職員におけるJPTECTMプロバイダー資格取得の現状
岩瀬史明 松田潔 岡本優司 石原武司 宮崎善史 小林辰輔 松本学 大嶽康介 加藤頼子 井上潤一
日本臨床救急医学 2015；18：664-668

3) 腎臓摘出を行わずに救命しえた重症気腫性腎盂腎炎の1例
秋山裕太郎 池田督司 木下大輔 加藤頼子 大嶽康介 松本学 宮崎善史 小林辰輔 井上潤一 岩瀬史明
山梨医学 2015；42：178-180

4) 帰宅させるか入院か？ すぐにコンサルトが必要か？
松本学
レジデントノート 2015；17：1924-1930

5) 「けいれん」のようだけど「非てんかん」？心因性非てんかん性けいれん (PNES)
加藤頼子
レジデントノート 2015；17：1912-1917

6) 【救急現場ですぐ役立つ臨床推論】胸が痛い
金姫静 上川智彦 松本学
救急看護トリアージのスキル強化 2015；4：17-21

7) 急性心筋梗塞による冠動脈ステント留置術後、心肺蘇生術による肝・胆嚢動脈から出血性ショックとなった1例
藤原裕季 牧野有高 梅谷健 徳増芳則 花輪宏明 出山順太郎 佐野圭太 中村政彦 松本学 小林辰輔
心臓 2015；47：497-503

ゲノム解析実績

1908-02 V1
1908-02 V2
1908-02 V3
1908-08 V4
1908-08 V5

ゲノム解析(2,000件)の内訳と実績

オラパリブ画期的がん治療薬 日本初使用

- ①無償でのBRCA検査 344件
(cf 20万2千円/件、総額 6,949万) → “県民へのサービス”
- ②保険収入有り(13/4/1~19/8/2) 782件
 - A. がん関連遺伝子 997万
 - B. 細菌関連遺伝子 586万
- ③がんの遺伝子診断(研究用) 874件

学会発表:234
英文論文:39

Breast & Ovary 13編、Lung 14編
GI & Liver 8編、Bladder 1編
Miscellaneous 3編

受賞歴

望月 仁:

- 第53回日本癌治療学会学術集会優秀演題賞 (2015年)
- 第54回日本癌治療学会学術集会優秀演題賞 (2016年)
- 第56回日本癌治療学会学術集会優秀演題賞 (2018年)

小嶋裕一郎:

- 第23回遺伝子診療学会、優秀演題賞 (2016年)
- 日本臨床細胞学会 年間最優秀論文賞 (2018年)
- 第10回サクラ病理技術賞新人賞 (2018年)

後藤太一郎

- 第55回日本癌治療学会学術集会優秀演題賞 (2017年)
- JDDW2018若手奨励賞 (2018年)
- 第17回日本臨床腫瘍学会奨励賞 (2019年)

競争的資金獲得

- 後藤太一郎 -80万円 がん集学的治療研究財団
- 弘津陽介 -100万円 安田記念医学財団 若手癌研究助成
- 100万円 大村智人材育成基金 山梨県若手研究者奨励
- 200万円 上原記念生命科学財団 研究奨励金
- 416万円 科学技術研究費 KAKEN「若手研究」
- 200万円 武田科学振興財団医学系研究助成(がん領域・臨床)

競争的資金の総額 (2019年8月現在) 1,280万円

読売新聞

平成29年9月7日 婦人科 坂本育子

医療ルネサンス がん治療の明日



“のどかな地方都市のこの病院は、
がんゲノム医療の先進施設という
異色の顔を持つ”

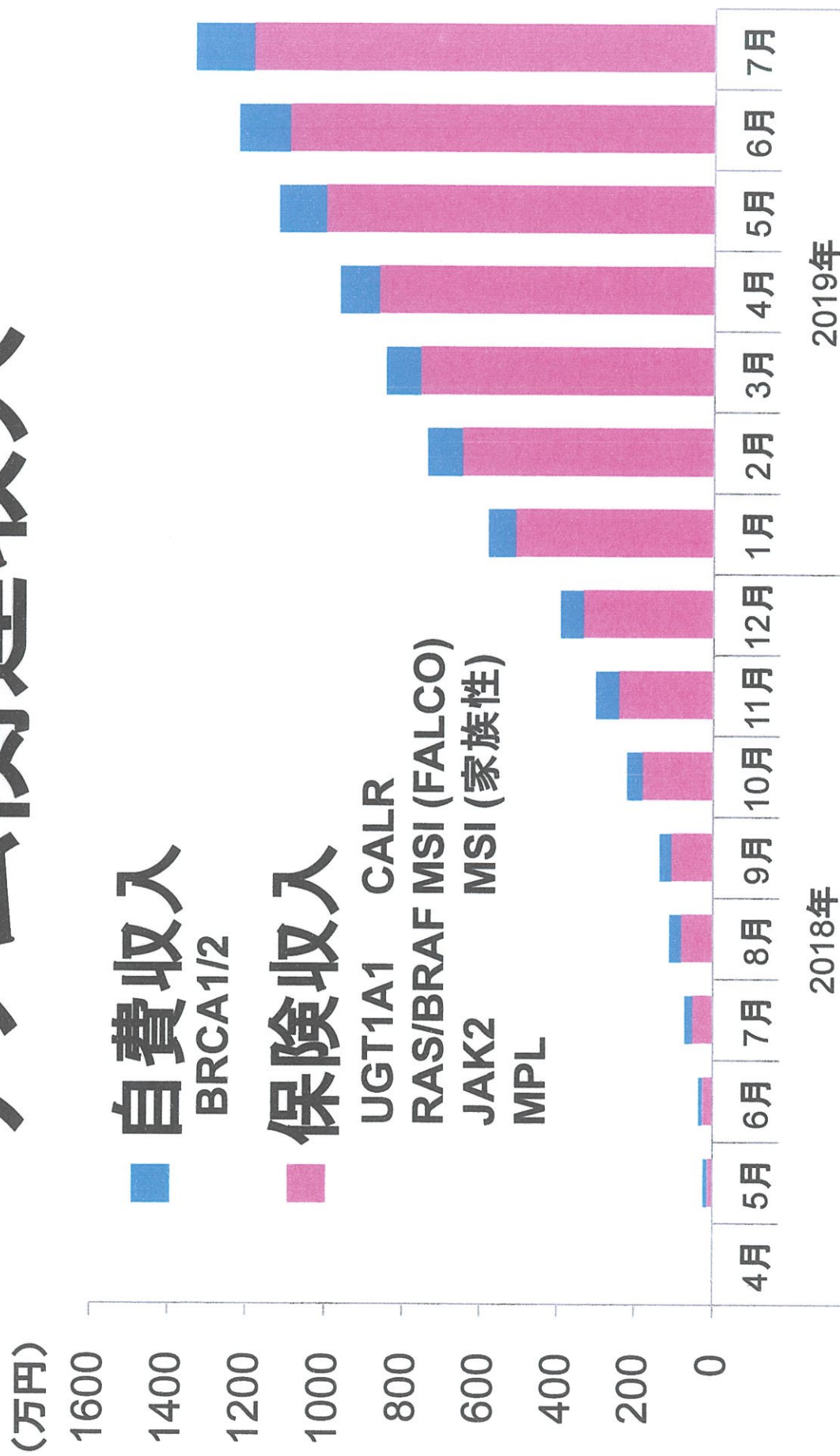
両宮健司:

- 第23回遺伝子診療学会、優秀演題賞 (2016年)
- 日本臨床細胞学会 年間最優秀論文賞 (2018年)
- 第10回サクラ病理技術賞新人賞 (2018年)

弘津陽介:

- 第55回日本癌治療学会学術集会優秀演題賞 (2017年)
- JDDW2018若手奨励賞 (2018年)
- 第17回日本臨床腫瘍学会奨励賞 (2019年)

ゲノム関連収入



累積
総数

Breast & Ovary

Detection of BRCA1 and BRCA2 germline mutations in Japanese population using next-generation sequencing. *Hirotsu Y, Nakagomi H, Sakamoto I, Amemiya K, Mochizuki H, Omata M. Mol Genet Genomics. 2015 Mar;312(1):1-9.*

Willingsness of Japanese patients with breast cancer to have genetic testing of BRCA without burden of expenses. *Nakagomi H, Sakamoto I, Hirotsu Y, Amemiya K, Mochizuki H, Inoue M, Nakagomi S, Kubota T, Omata M. Breast Cancer. 2016 Jul;23(4):649-53.*

Analysis of PALB2 mutations in 159 Japanese patients with breast and/or ovarian cancer. *Nakagomi H, Sakamoto I, Hirotsu Y, Amemiya K, Mochizuki H, Omata M. Int J Clin Oncol. 2016 Apr;21(2):270-275.*

Multigene panel analysis identified germline mutations of DNA repair genes in breast and ovarian cancer. *Hirotsu Y, Nakagomi H, Sakamoto I, Amemiya K, Oyama T, Mochizuki H, Omata M. Mol Genet Genomics. 2015 Sep;315(4):549-56.*

BRCA1 and BRCA2 mutations in Japanese patients with ovarian, fallopian tube, and primary peritoneal cancer. *Sakamoto I, Hirotsu Y, Nakagomi H, Ouchi H, Ikegami A, Teramoto K, Amemiya K, Mochizuki H, Omata M. Cancer. 2016 Jan;11(22):184-90.*

Intrinsic HER2 VITL2 mutation mediates resistance to trastuzumab in a breast cancer patient. *Hirotsu Y, Nakagomi H, Amemiya K, Oyama T, Inoue M, Mochizuki H, Omata M. Med Oncol. 2017 Jan;34(1):3.*

A study of tumor heterogeneity in a case with breast cancer. *Nakada H, Nakagomi H, Hirotsu Y, Amemiya K, Mochizuki H, Inoue M, Oyama T, Omata M. Breast Cancer. 2017 May;24(3):483-489.*

Rapid Changes in Circulating Tumor DNA in Serially Sampled Plasma During Treatment of Breast Cancer: A Case Report. *Nakagomi H, Hirotsu Y, Amemiya K, Nakada H, Inoue M, Mochizuki H, Oyama T, Omata M. Am J Case Rep. 2017 Jan 9;18:26-32.*

PALB2 mutation in a woman with bilateral breast cancer: A case report. *Nakagomi H, Hirotsu Y, Okimoto K, Sakamoto I, Amemiya K, Nakagomi S, Kubota T, Mochizuki H, Omata M. Mol Clin Oncol. 2017 Apr;6(4):556-560.*

Unexpectedly low frequency of BRCA1/2 deleterious mutations in Japanese patients with breast cancer. *Sakamoto I, Nakagomi H, Okimoto K, Inoue M, Hirotsu Y, Amemiya K, Mochizuki H, Omata M. Breast J. 2018 Jun;24(1):96-98.*

Simultaneous detection of genetic and copy number alterations in BRCA1/2 genes. *Hirotsu Y, Ooka Y, Sakamoto I, Nakagomi H, Omata M. Oncotarget. 2017 Dec 6;8(70):114463-114473.*

Combined annotation-dependent depletion analysis for BRCA1/2 variants in patients with breast and/or ovarian cancer. *Nakagomi H, Mochizuki H, Inoue M, Hirotsu Y, Amemiya K, Sakamoto I, Nakagomi S, Kubota T, Omata M. Cancer Sci. 2018 Feb;109(2):453-461.*

Durable response by pembrolizumab in Japanese patient with primary peritoneal cancer with multiple brain metastases: A case report. *Sakamoto I, Hirotsu Y, Nakagomi H, Ikegami A, Teramoto K, Omata M. J Obstet Gynaecol Res. 2019 Mar;45(3):743-747.*

Lung

Analysis of tumor-derived DNA in plasma and bone marrow fluid in lung cancer patients. *Goto T, Hirotsu Y, Oyama T, Amemiya K, Omata M. Med Oncol. 2016 Mar;33(3):28.*

Stemness addition of genetic changes correlated with histological change from "well-differentiated" to "sarcomatoid" phenotypes: a case report. *Goto T, Hirotsu Y, Mochizuki H, Nakagomi T, Oyama T, Amemiya K, Omata M. BMC Cancer. 2017 Jan 19;17(1):95. doi: 10.1186/s12885-017-3059-1*

BMC Cancer. 2017 Jan 19;17(1):95. doi: 10.1186/s12885-017-3059-1

Analysis of significantly mutated genes as a clinical tool for the diagnosis in a case of lung cancer. *Miyashita Y, Hirotsu Y, Tsutsui T, Higashi S, Sogami Y, Kakizaki Y, Goto T, Amemiya K, Oyama T, Omata M. Respir Med Case Rep. 2017 Feb 17;20:171-175.*

Mutational analysis of multiple lung cancers. Discrimination between primary and metastatic lung cancers by genomic profile. *Goto T, Hirotsu Y, Mochizuki H, Nakagomi T, Shikata D, Yokoyama Y, Oyama T, Amemiya K, Okimoto K, Omata M. Oncotarget. 2017 May 8;8(19):31133-31143.*

Rapid decrease of circulating tumor DNA predicted the treatment effect of nivolumab in a lung cancer patient within only 5 days. *Iijima Y, Hirotsu Y, Amemiya K, Higashi S, Miyashita Y, Omata M. Respir Med Case Rep. 2017 Jun 5;22:31-33.*

Elucidation of radiation-resistant clones by a serial study of intratumor heterogeneity before and after stereotactic radiotherapy in lung cancer. *Nakagomi T, Goto T, Hirotsu Y, Shikata D, Amemiya K, Oyama T, Mochizuki H, Omata M. J Thorac Dis. 2017 Jul 9(7):E598-E604.*

Distribution of circulating tumor DNA in lung cancer: analysis of the primary lung and bone marrow along with the pulmonary venous and peripheral blood. *Goto T, Hirotsu Y, Amemiya K, Nakagomi T, Shikata D, Yokoyama Y, Okimoto K, Oyama T, Mochizuki H, Omata M. Oncotarget. 2017 Jul 25;8(35):59268-59281.*

Detection of tumor-derived DNA dispersed in the airway improves the diagnostic accuracy of bronchoscopy for lung cancer. *Goto T, Hirotsu Y, Nakagomi T, Shikata D, Yokoyama Y, Amemiya K, Tsutsui T, Kakizaki Y, Oyama T, Mochizuki H, Miyashita Y, Omata M. Oncotarget. 2017 May 24;8(45):79404-79413.*

Very early response of circulating tumour-derived DNA in plasma predicts efficacy of nivolumab treatment in patients with non-small cell lung cancer. *Iijima Y, Hirotsu Y, Amemiya K, Ooka Y, Mochizuki H, Oyama T, Nakagomi T, Uchida Y, Kobayashi Y, Tsutsui T, Kakizaki Y, Goto T, Miyashita Y, Omata M. Eur J Cancer. 2017 Nov;86:349-357.*

New therapeutic targets for pulmonary sarcomatoid carcinomas based on their genomic and epigenetic profiles. *Nakagomi T, Goto T, Hirotsu Y, Shikata D, Yokoyama Y, Higuchi R, Amemiya K, Okimoto K, Oyama T, Mochizuki H, Omata M. Oncotarget. 2018 Jan 31;9(12):10635-10649.*

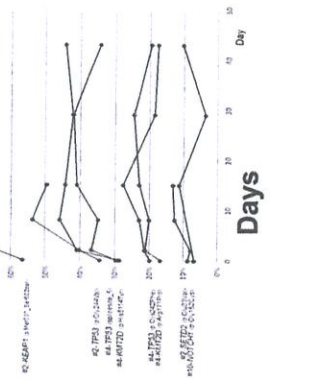
Understanding Intratumor Heterogeneity and Evolution in NSCLC and Potential New Therapeutic Approach. *Goto T, Hirotsu Y, Amemiya K, Mochizuki H, Omata M. Cancers (Basel). 2018 Jun 22;10(7): pii: E212*

Dynamic Changes and Drug-Induced Selection of Resistant Clones in a Patient With EGFR-Mutated Adenocarcinoma That Acquired T790M Mutation and Transformed to Small-Cell Lung Cancer. *Iijima Y, Hirotsu Y, Mochizuki H, Amemiya K, Oyama T, Uchida Y, Kobayashi Y, Tsutsui T, Kakizaki Y, Miyashita Y, Omata M. Clin Lung Cancer. 2018 Nov;19(6):e843-e847.*

Genomic Characteristics of Invasive Micrometastatic Adenocarcinomas of the Lung and Potential Therapeutic Targets of B7-H3. *Nakagomi T, Goto T, Hirotsu Y, Shikata D, Yokoyama Y, Higuchi R, Otake S, Amemiya K, Oyama T, Mochizuki H, Omata M. Cancers (Basel). 2018 Nov 30;10(12): pii: E478.*

Clinical Implications of Noncoding Models in the Surface-Encoded Genes in Lung Cancer. *Nakagomi T, Hirotsu Y, Goto T, Shikata D, Yokoyama Y, Higuchi R, Otake S, Amemiya K, Oyama T, Mochizuki H, Omata M. Cancers (Basel). 2019 Apr 17;11(4):*

Responders

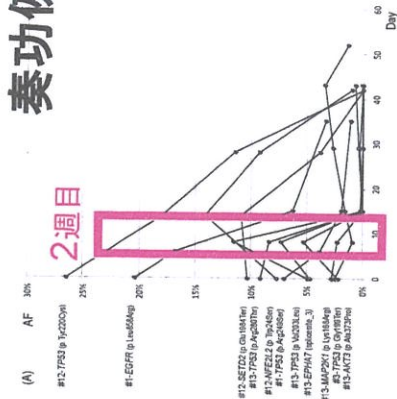


“ct DNA”

非奏功例

奏功例

2週目



現在世界で
Download 数
Top40にランク

GI & Liver

HCV NS5A resistance-associated variants in a group of real-world Japanese patients chronically infected with HCV genotype 1b. *Hirotsu Y, Kanda T, Matsumura H, Moriama M, Yokosuka O, Omata M. Hepatol Int. 2015 Jul;9(3):424-30. doi: 10.1007/s12072-015-9824-2. Epub 2015 Mar 20*

Targeted and exome sequencing identified somatic mutations in hepatocellular carcinoma. *Hirotsu Y, Zheng TH, Amemiya K, Mochizuki H, Guleng B, Omata M. Hepatol Res. 2016 Oct;46(11):1145-1151.*

Comparison between two amplicon-based sequencing panels of different scales in the detection of somatic mutations associated with gastric cancer. *Hirotsu Y, Kojima Y, Okimoto K, Amemiya K, Mochizuki H, Omata M. BMC Genomics. 2016 Oct 26;17(1):833*

Genetic bases of a common tumor origin in the development of pancreatic mixed acinar neuroendocrine-ductal carcinoma: A case report. *Takano A, Hirotsu Y, Amemiya K, Nakagomi H, Oishi N, Oyama T, Mochizuki H, Omata M. Oncol Lett. 2017 Oct;14(4):4428-4432.*

Influence of *MLL2/5* variants on hematological pictures of patients with inflammatory bowel disease treated with thiopurines. *Kojima Y, Hirotsu Y, Omata W, Sugimoto M, Takao S, Ashizawa H, Yoshimura D, Hoecda K, Suzuki Y, Mochizuki H, Omata M. World J Gastroenterol. 2018 Jan 28;24(4):511-518.*

Molecular subtype switching in early-stage gastric cancers with multiple occurrences. *Takao S, Hirotsu Y, Ohyama H, Mochizuki H, Amemiya K, Oyama T, Ashizawa H, Yoshimura D, Nakagomi K, Hosoda K, Suzuki Y, Kojima Y, Omata M. J Gastroenterol. 2019 Aug;54(8):674-686.*

Deficiency of mismatch repair genes is less frequently observed in signet ring cell compared with non-signet ring cell gastric cancer. *Hirotsu Y, Mochizuki H, Amemiya K, Ohyama H, Yoshimura D, Amano H, Miura Y, Ashizawa H, Nakagomi K, Takao S, Hosoda K, Suzuki Y, Oyama T, Hada M, Kojima Y, Omata M. Med Oncol. 2019 Jan 29;36(3):23.*

Molecular Mechanisms Driving Progression of Liver Carcinoma towards Hepatocellular Carcinoma in Chronic Hepatitis B and C Infections: A Review. *Kanda T, Goto T, Hirotsu Y, Moriama M, Omata M. Int J Mol Sci. 2019 Mar 18;20(6): pii: E1358.*

Bladder

Genomic profile of urine has high diagnostic sensitivity compared to cytology in non-invasive urothelial bladder cancer. *Hirotsu Y, Yokoyama H, Amemiya K, Hagimoto T, Daimon H, Hosaka K, Oyama T, Mochizuki H, Omata M. Cancer Sci. 2019 in press*

Miscellaneous

Touch imprint cytology with massively parallel sequencing (TIC-seq): a simple and rapid method to snapshot genetic alterations in tumors. *Hirotsu Y, Yokoyama H, Amemiya K, Mochizuki H, Mochizuki H, Oyama T, Omata M. Cancer Med. 2016 Dec;5(12):3428-3436.*

Simple and Rapid Method to Obtain High-quality Tumor DNA from Clinical-pathological Specimens Using Touch Imprint Cytology. *Amemiya K, Hirotsu Y, Oyama T, Omata M. J Vis Exp. 2018 Mar 21(133).*

Relationship between formalin reagent and success rate of targeted sequencing analysis using formalin fixed paraffin embedded tissues. *Amemiya K, Hirotsu Y, Oyama T, Omata M. Clin Chim Acta. 2019 Jan;488:129-134.*

平成30年度中央病院研修会等一覧表(院外周知したもの)

No.	研修会等名	開催日	内容	参加者数	うち院外参加者数
1	地域連携研修会	4/19	ロコモ原因疾患の変形性膝関節症 -いつ・誰に・どの治療を行うか-	44	30
2		6/6	医療現場において発生するトラブルと事前・事後の対処法	210	45
3		6/13	がん疼痛の薬物治療 ~こんなにあるの!?オピオイド!~	101	19
4		7/12	医科しか連携専門の口腔ケアシステムの構築 ~糖尿病治療関連を含めて~	50	30
5		7/31	高齢者の皮膚を守る ~在宅でのスキンケア対策~	57	51
6		8/23	風邪のみかた	67	32
7		9/26	頸部痛・上肢痛を考える ~頸部・上肢痛の診断アプローチ	30	19
8		10/23	緩和ケア勉強会 最新の肺がん治療について	49	35
9		11/20	①癌とVTE ②周術期致命的PE撲滅を目指して	107	7
10		12/1	①糖尿病の地域連携とチーム医療 ②当院チーム医療の取り組み	37	17
11		12/13	周産期医療懇話会 「急性期医療に忘れてはならない新生児とのコミュニケーションと心のモニタリング」	68	45
12		1/24	緩和ケア勉強会 「終末期の患者・家族の思いによりそうケアについて」	41	4
13		2/28	周産期医療懇話会	40	22
14		3/15	退職記念講演 「口腔外科診療の30年を振り返って」	86	51
15	総合がんセンターボード	4/27	直腸がんに対するロボット手術	62	不明
16		6/19	内視鏡的インターベンション 膵癌・胆道癌	69	不明
17		9/18	ロボット支援食道癌手術 ~現状と安全な導入~	54	不明
18		12/26	ゲノムとロボット手術	43	不明
19		2/26	臓器横断的癌治療の夜明け	54	不明
20	化学療法研修会	7/28	がんと共に生きるを支える	65	不明
21	がん相談員研修会	8/4	生活の視点を持ち、地域の専門職とつながろう	20	不明
22		8/5	ゲノム医療と免疫療法	12	不明
23	ACP研修会	10/26	転移乳がん患者におけるAdvance Care Planning(ACP)の取り組み	42	不明
24	院内がん登録研修会	11/22	病期分類別の講義、問題演習等	14	不明
25	緩和ケアチーム研修会	11/11	座学、グループワーク等	29	不明
26	緩和ケア研修会	1/6	座学、グループワーク等	23	不明
27	がんセミナー	9/22	早くきれいに治すがんの低侵襲手術療法 ~内視鏡手術からロボット支援手術~	55	不明
28		11/23	患者が受けたい、医療者が実施したい医療のために知っておくべきこと アドバンス・ケア・プランニングとは何だろうか?	48	不明
29		3/9	県民に伝えたい医療最前線 感染症とがん	83	不明
30	市民公開講座	9/1	からだに負担の少ないがん医療	62	不明
31	エイズ講演会	9/25	非専門家のためのHIVとの関わり方	63	不明

1,785

407

平成30年度中央病院 地域医療機関に参加を依頼した会議

No.	会議名	開催日	内容	参加者数	うち院外参加者数
1	山梨県立中央病院 臨床研修委員会	12/3	臨床研修プログラム等について 外部委員参加状況 ※(出席回数/開催回数) 山梨大学(0/2) 市川三郷病院(0/2) 富士川病院(0/2) 飯富病院(2/2) 甲陽病院(2/2) 塩川病院(0/2) 牧丘病院(1/2)	40	8
2		3/11	中北保健所(2/2) 厚生連健康管理センター(1/2) 石和共立病院(2/2) 富士吉田市立病院(1/2) 山梨赤十字病院(0/2) 都留市立病院(2/2) 大月市立病院(0/2) 上野原市立病院(0/2) 県立北病院(2/2) 甲府市医師会(0/2)	42	7
3	山梨県立中央病院 地域医療支援病院 運営委員会	6/25	紹介率・逆紹介率等について 外部委員参加状況 ※(出席回数/開催回数)	10	6
4		9/25	山梨県医師会(4/4) 甲府市医師会(3/4)	9	5
5		1/21	中北保健所(4/4) のだ内科クリニック(連携登録医)(3/4)	9	5
6		3/19	井上内科小児科医院(連携登録医)(4/4) 登美の丘クリニック(連携登録医)(4/4)	10	6

120

37

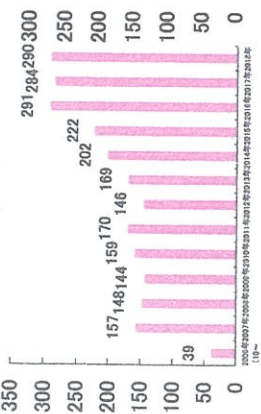
平成30年度中央病院医師委嘱状況一覧表

No.	委嘱元	委嘱名称	職名	氏名		
1	山梨県	山梨県がん対策推進協議会	理事長	小俣 政男		
2	山梨県	山梨県肝炎対策協議会				
3	山梨県	山梨県腎臓病連絡協議会				
4	山梨県	山梨県精神身体合併症協議会				
5	山梨県	山梨県エイズ拠点病院連絡協議会				
6	山梨県	山梨県がん診療連携拠点病院連絡協議会				
7	山梨県	山梨県生活習慣病検診管理指導協議会 肺がん登録評価部会				
8	山梨県	中北地域保健医療推進委員会			院長	神宮寺 禎巳
9	山梨県	峡東保健所感染症診査協議会				
10	山梨県	山梨県医療対策協議会				
11	山梨県	山梨県専門医制度関係連絡者協議会				
12	山梨県	山梨県臨床研修病院等連携協議会				
13	山梨県地域医療支援センター	山梨県地域医療視線センター運営委員会				
14	山梨県国民健康保険団体連合会	介護給付費等審査委員会	副院長	平賀 幸弘		
15	山梨県	山梨県生活習慣病検診管理指導協議会 乳がん・子宮部会がんと部会	副院長	中込 博		
16	山梨県	がん情報審議会				
17	山梨県	山梨県国民健康保険診療報酬審査委員会	院長補佐	中村 政彦		
18	山梨県	山梨県指定難病審査会	がんセンター局長	小嶋 裕一郎		
19	山梨県	山梨県指定難病審査会	統括部長	梅谷 健		
20	山梨県	山梨県生活習慣病検診管理指導協議会 循環器疾患等部会				
21	山梨県	山梨県国民健康保険診療報酬審査委員会	統括部長	千野 孔三		
22	山梨労働局	山梨労働局地方防災医員				
23	山梨県	山梨県指定難病審査会				
24	山梨県	山梨県アレルギー疾患対策協議会	統括部長	塚本 克彦		
25	山梨県	山梨県指定難病審査会				
26	山梨県	山梨県生活習慣病検診管理指導協議会 胃がん・大腸がん・肝がん部会	統括部長	宮坂 芳明		
27	山梨県	山梨県指定難病審査会				
28	山梨県	中北保健所感染症診査協議会	統括部長	宮下 義啓		
29	山梨県	山梨県生活習慣病検診管理指導協議会 肺がん登録評価部会				
30	山梨県	山梨県小児慢性特定疾病審査会	統括副部長	大谷知 昇		
31	山梨県	山梨県指定難病審査会	統括副部長	神崎 健仁		
32	山梨県	山梨県精神医療審査会	統括副部長	渡辺 剛		
33	山梨県	山梨県合同輸血療法委員会	センター長	飯野 昌樹		
34	山梨県	山梨県肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業認定審査協議会	センター長	飯室 勇二		
35	山梨県	山梨県肝炎医療費認定審査協議会				
36	山梨県	山梨県メディカルコントロール協議会	センター長	岩瀬 史明		
37	山梨県	山梨県小児慢性特定疾病審査会	センター長	星合 美奈子		
38	山梨県肝疾患診療連携拠点病院 (山梨大学)	山梨県肝疾患診療連携拠点病院等連絡協議会	センター長	望月 仁		
39	山梨県	山梨県がん対策推進協議会	センター長	許山 美和		
40	山梨県教育委員会	入院児童生徒教育体制強化事業運営協議会	主任医長	後藤 裕介		
41	山梨県教育委員会	インクルーシブ教育システム推進連携会議				
42	山梨県	山梨県国民健康保険柔道整復施術療養費審査委員会	主任医長	佐久間 陸友		
43	山梨県	山梨県指定難病審査会	主任医長	温井 郁夫		

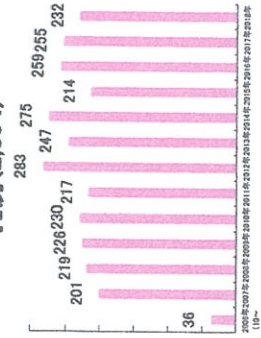
院内がん登録数(2006/10-2018/12) 総数22,674

2019/8/1 横内/佐藤

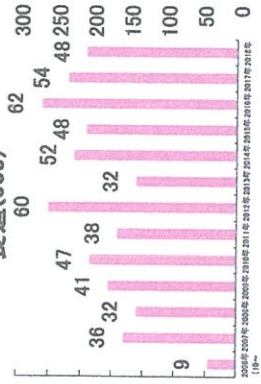
肺(2,421)



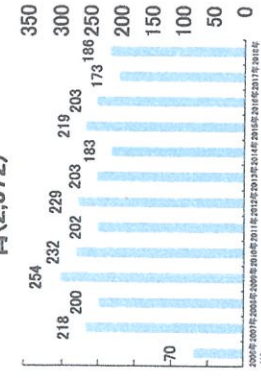
乳房(2,894)



食道(559)



胃(2,572)



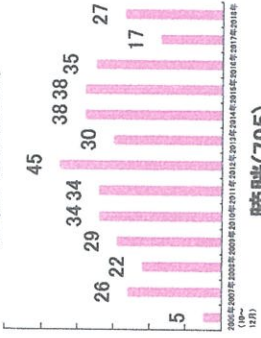
大腸(3,088)
(肛門管、虫垂除く)



肝臓(935)



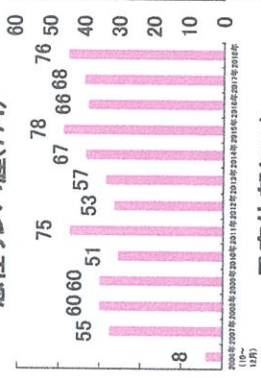
胆嚢・胆管(380)



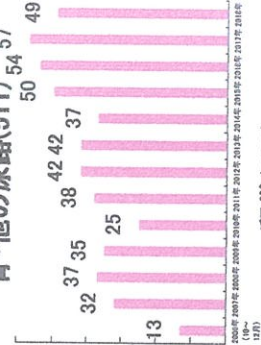
膵臓(603)



悪性リンパ腫(774)



腎・他の尿路(511)



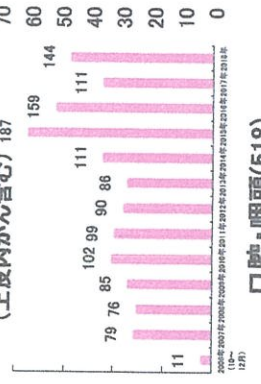
前立腺(1,637)



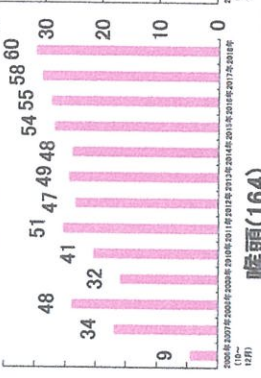
膀胱(795)



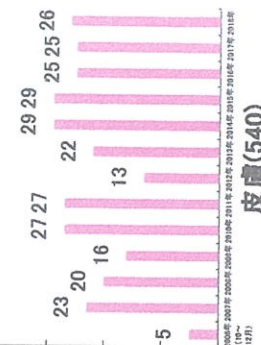
子宮頸部(1,340)
(上皮内がん含む)



子宮体部(586)



卵巣(287)



脳・中枢神経系(335)



甲状腺(331)



口腔・咽頭(518)



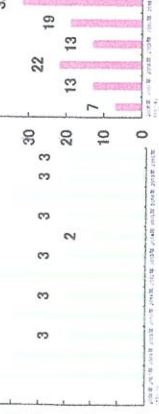
喉頭(164)



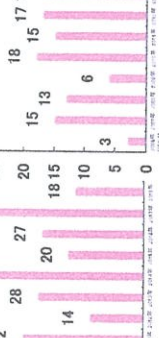
皮膚(540)



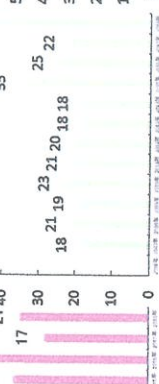
骨・軟部(47)



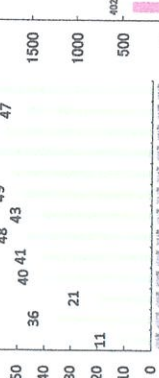
白血病(294)



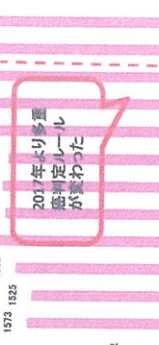
多発性骨腫瘍(214)



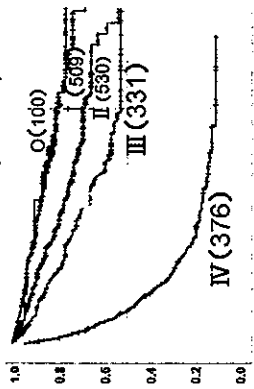
他の造血器腫瘍(284)



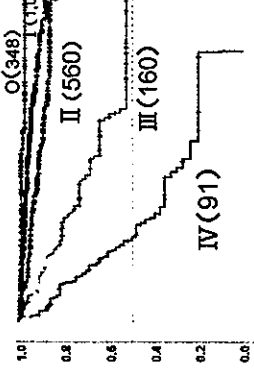
2006年-2018年全がん総数
(n=22,674)



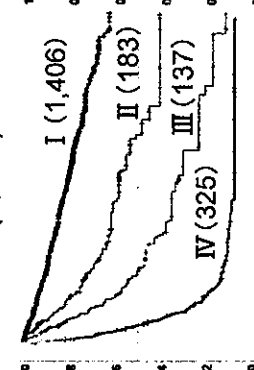
大腸(1,846)



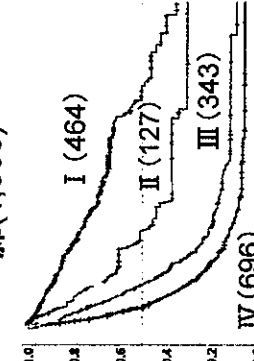
乳房(2,231)



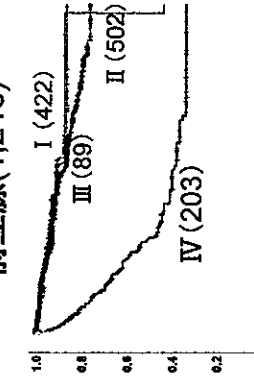
胃(2,051)



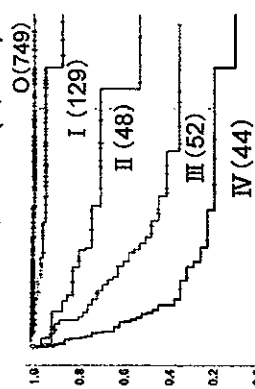
肺(1,630)



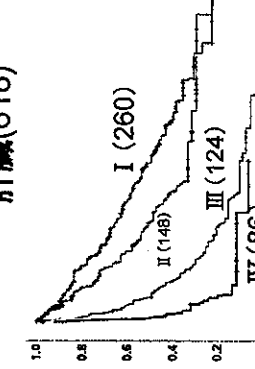
前立腺(1,216)



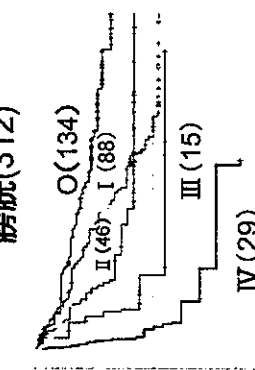
子宮頸部(1,022)



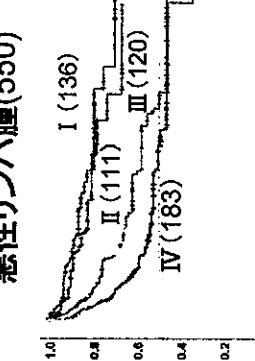
肝臓(618)



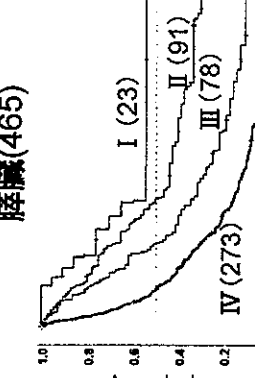
膀胱(312)



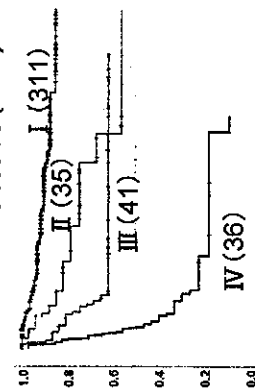
悪性リンパ腫(550)



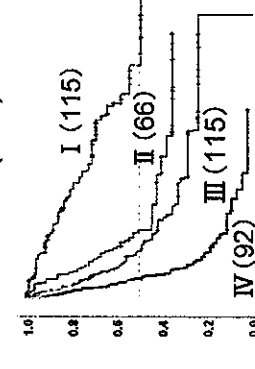
膵臓(465)



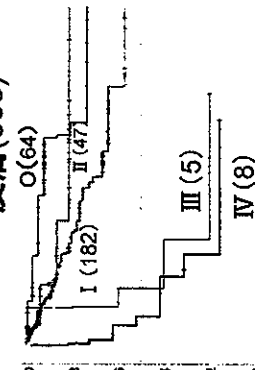
子宮体部(423)



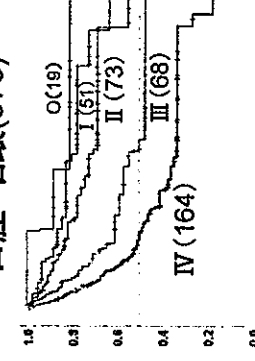
食道(388)



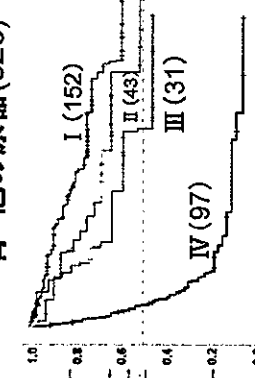
皮膚(306)



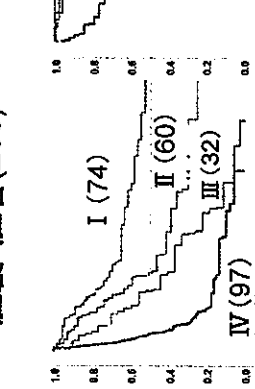
口腔・咽頭(375)



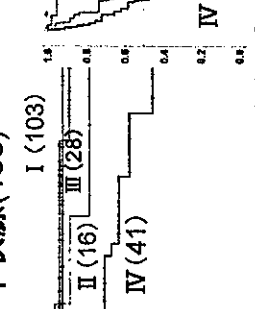
腎・他の泌尿器(323)



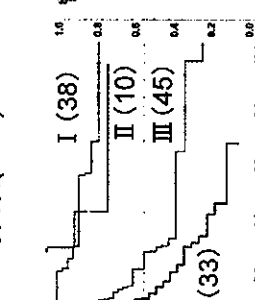
胆嚢・胆管(263)



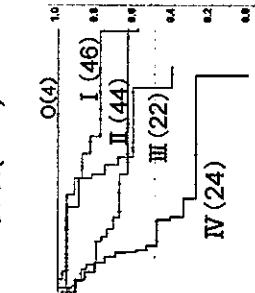
甲状腺(188)



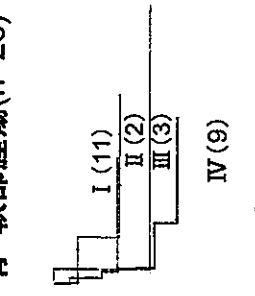
卵巣(126)



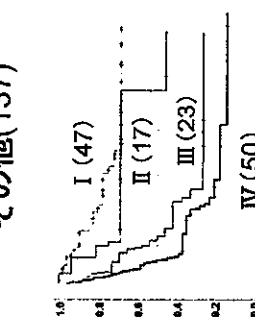
喉頭(140)



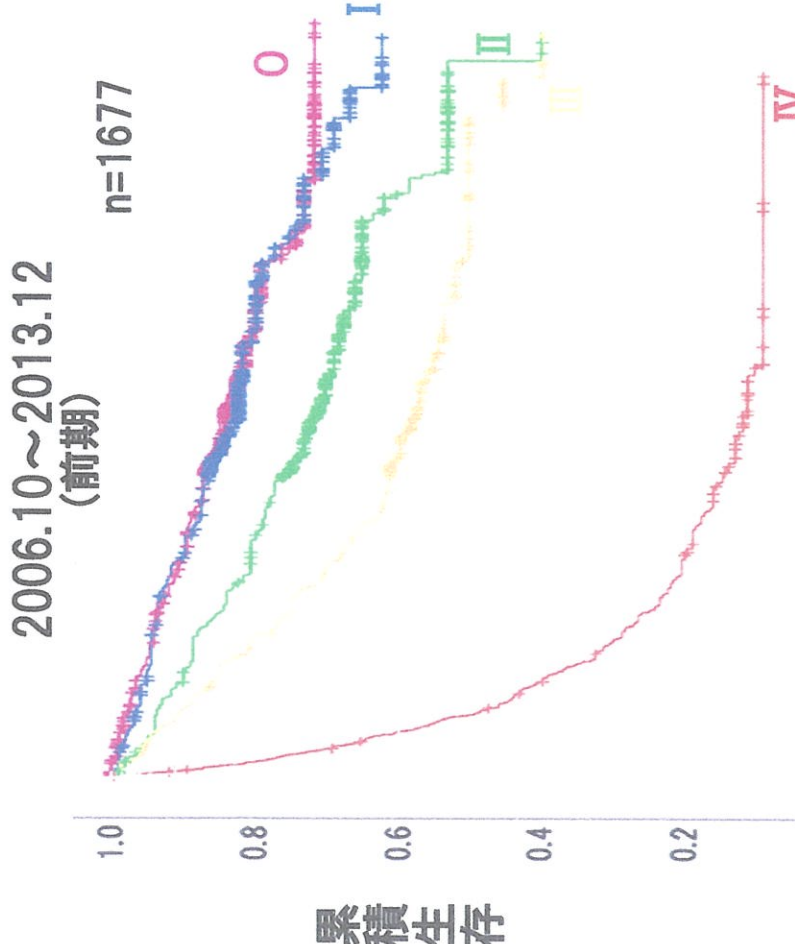
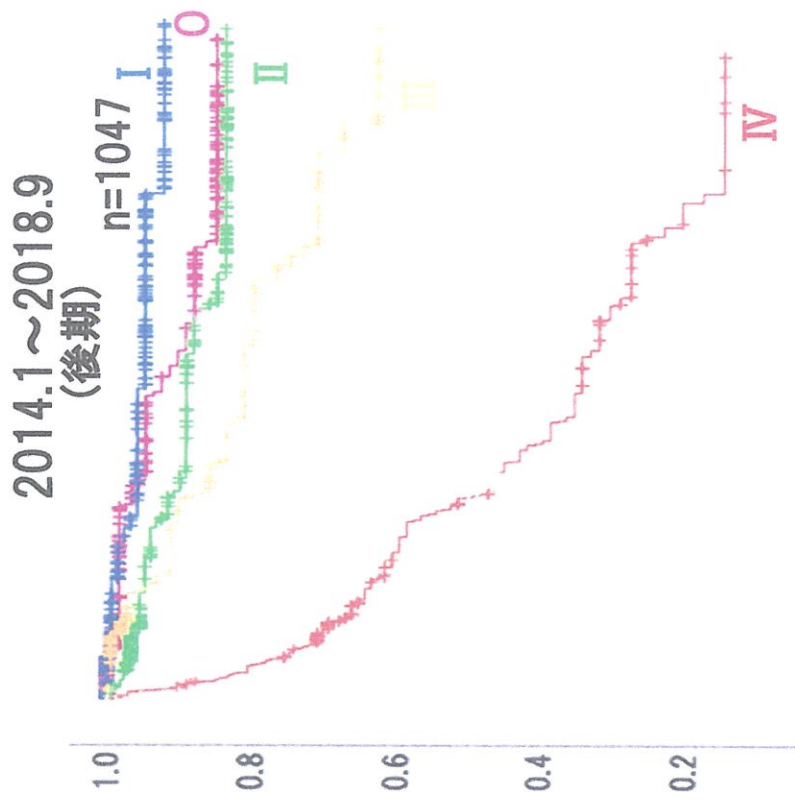
骨・軟部腫瘍(n=25)



その他(137)



大腸癌 Stage別 Overall Survival



累積生存

Number at Risk	.00	1.00	2.00	3.00	4.00	5.00 (年)
0	265	262	258	252	250	250
I	214	212	209	208	207	207
II	221	211	204	203	199	199
III	182	172	165	162	157	155
IV	165	108	89	79	72	72

Number at Risk	.00	2.00	4.00	6.00	8.00	10.00	12.00 (年)
0	430	410	388	369	360	353	353
I	342	323	308	287	283	275	271
II	314	279	253	230	221	215	212
III	305	253	205	182	173	171	168
IV	286	99	63	47	44	44	44

肝細胞癌 Stage別

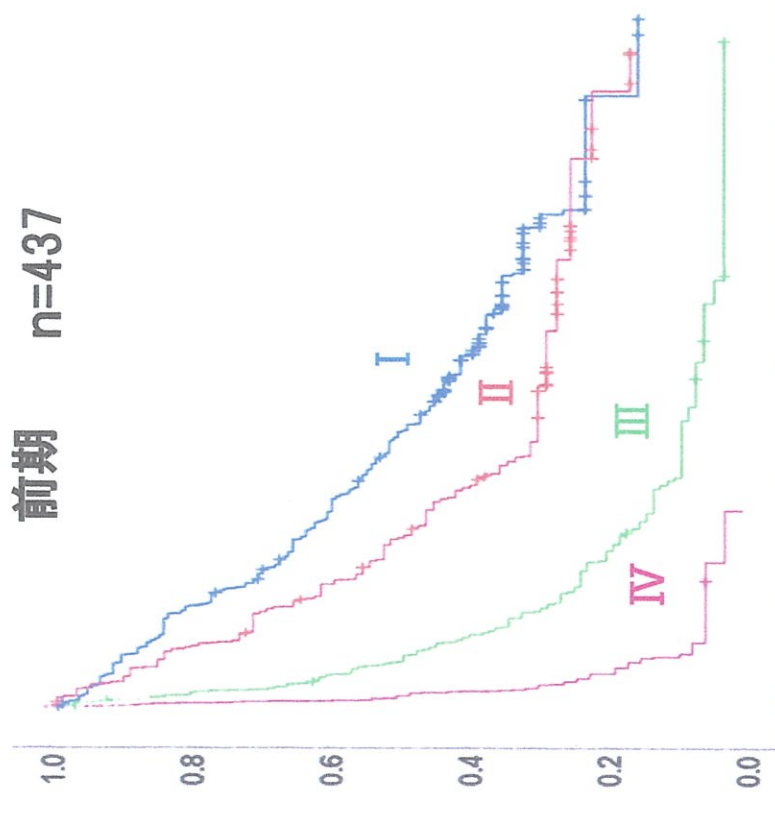
Overall Survival Kaplan-Meier曲線

2006/10/1-2013/12/31

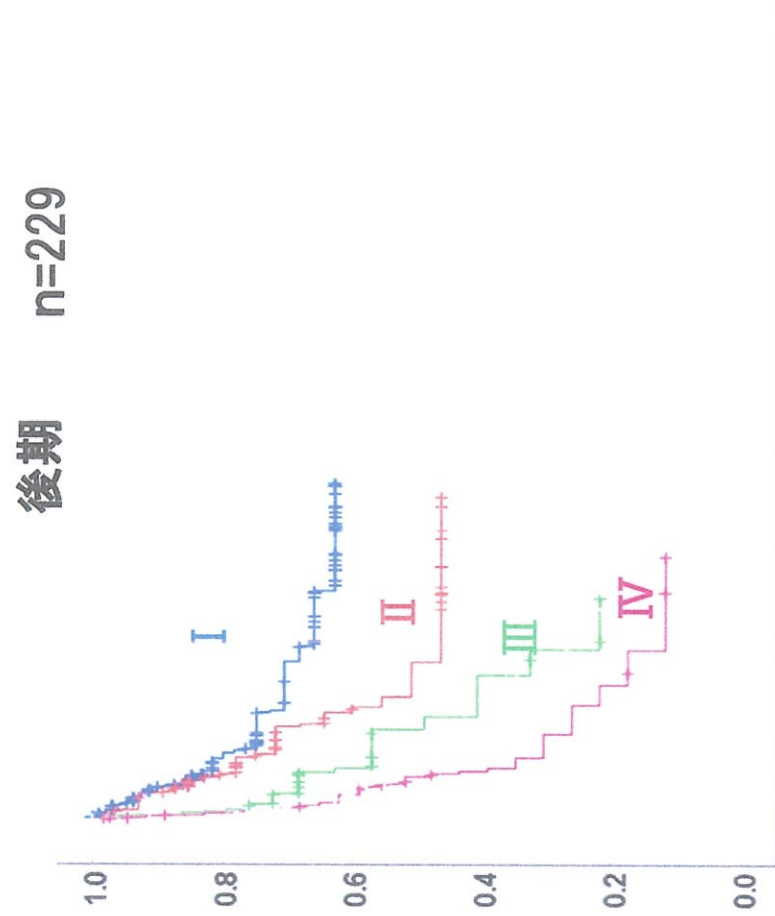
2014/1/1~2018/9/30

前期 n=437

後期 n=229



	0	2.0	4.0	6.0	8.0	10.0	12.0	
I	167	57.6	125	87	50	17	4	1
II	105	36	61	37	19	13	5	0
III	110	9.6	28	11	6	1	1	0
IV	55	2.4	3	0	0	0	0	0
MST								



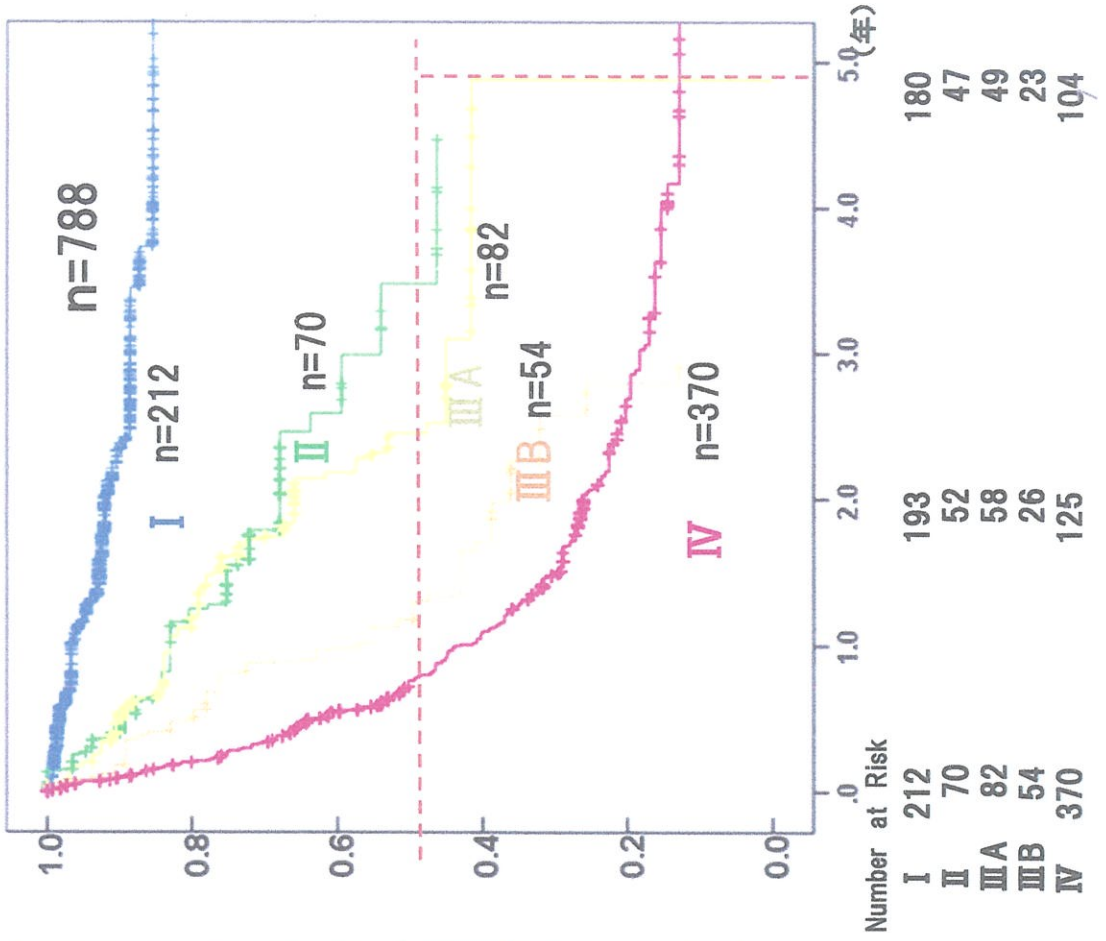
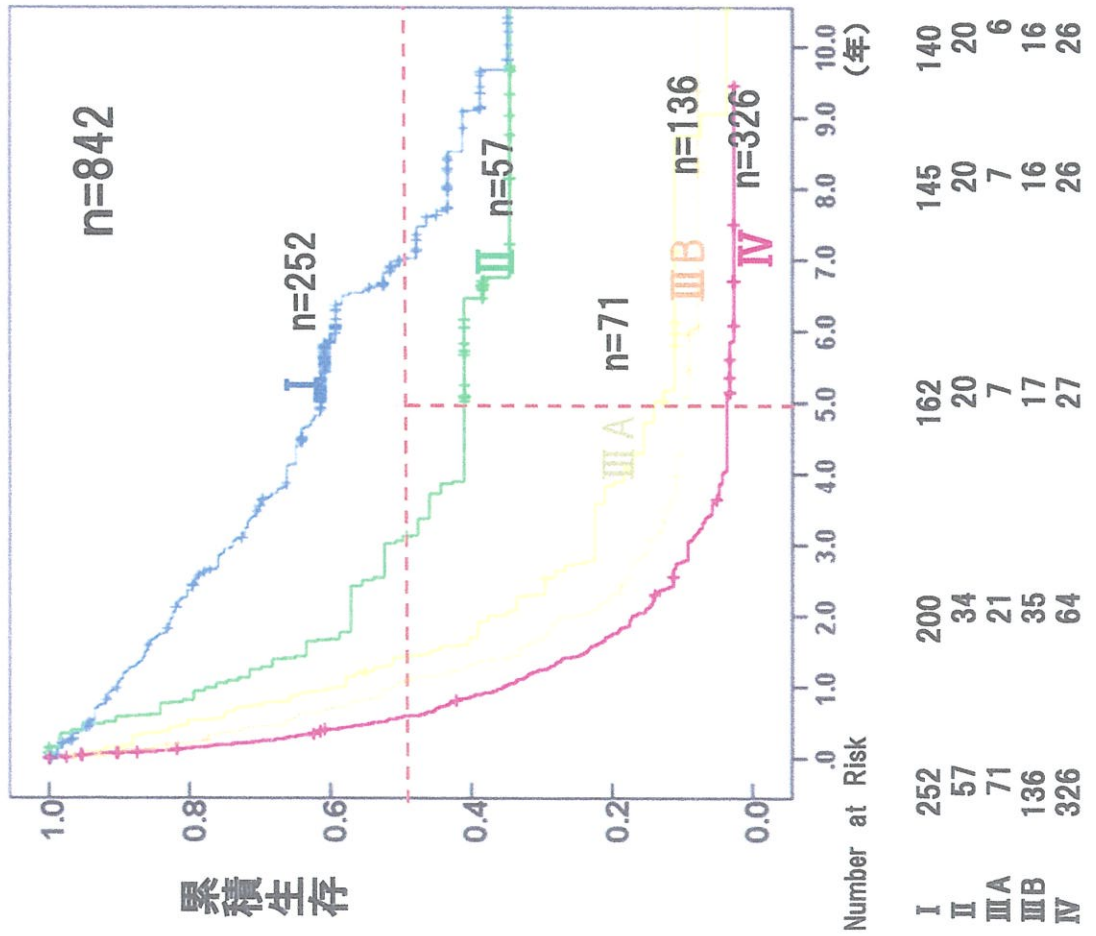
	0	2.0	4.0	6.0	8.0	10.0	12.0
I	103	32	14				
II	57	28.8	11	4			
III	31	16.8	5	0			
IV	58	8.4	25	21			
MST							

肺癌 Stage別 Overall Survival

Kaplan-Meier曲線

2006/10/1~2012/12/31

2013/1/1~2017/12/31



2018/12/17 横内

県立中央病院学術活動(論文・講演)の推移

